

平成30年度 ふるさと川南の教育



川南町教育委員会

川南町民憲章

わたしたちの町川南を、

豊かで明るく住みよい町にする
ために、この憲章を定めます。

一、融和と開拓精神にもえている町民で
あることに、誇りをもとう。

一、郷土発展のために、心魂をかたむけてきた
先輩に、感謝のまことをささげよう。

一、近隣愛にもえ、豊かなくらしをするための
物づくりには、力をあわせよう。

一、ひとりひとりの可能性を信じ、未来を
ひらく青少年育成のために、力をあわせよう。

一、自然を愛し、健康で明るい家庭と社会を
つくるために、力をあわせよう。





平成30年度 ふるさと川南の教育

～ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

川南町教育委員会
Team Kawaminami

I 町民総ぐるみによる教育の推進

- 学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進
 - ・ 地域学校協働活動の推進に向けた「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業」の展開
 - ・ 学校と学校支援コーディネーターの連携強化
- 家庭や地域の教育力の向上
 - ・ 「早寝・早起き、朝ご飯」、「ノーメディア・デー（アワー）」等の推進
 - ・ 家庭教育学級の充実
- 開かれた学校づくりの推進
 - ・ 学校からの情報発信の充実
 - ・ 学校関係者評価委員会の充実とコミュニティ・スクールの検討

III 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

- ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
 - ・ 開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実
 - ・ 川南の記念日等（リ・ポーンデー、消毒の日）を利用した活動の啓発
- 地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
 - ・ 子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進
- キャリア教育の推進
 - ・ 核となる体験活動を位置付けた系統的なキャリア教育の推進
 - ・ 地域人財（材）や企業等との連携によるキャリア教育の推進

川南町教育基本方針

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第5次長期総合計画基本計画、川南町教育大綱（教育振興基本計画）を受け、川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を推進する。

II 生きる基盤を育む教育の推進

- 就学前教育の充実
 - ・ 発達障がいや言語（ことば）の遅れのある子どもへの支援
- 確かな学力を育む教育の推進 **知育**
 - ・ 学力向上のための学習指導の改善・充実
 - ・ 今求められている指導力を高めるための研修会等への参加促進
 - ・ 冊子「かわみなみの教育力」、進級テスト等の活用と家庭学習の充実
 - ・ 川南町ニューフロンティア教育研究会の充実
- 豊かな心を育む教育の推進 **徳育**
 - ・ 体験活動を生かした道徳教育の推進
 - ・ 生徒指導体制、教育相談体制の整備・充実
 - ・ いじめ防止体制の整備といじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり
 - ・ 児童会・生徒会活動の充実
- 健やかな体を育む教育の推進 **体育**
 - ・ 立腰指導の徹底や体力向上プランの計画的継続的な実践
 - ・ 安全、安心な学校給食と安全教育の推進
- 共生社会を目指す特別支援教育の推進
 - ・ 就学相談、教育支援委員会の充実
- 人権が尊重される社会を目指す教育の推進
 - ・ 一人一人を大切にする言葉遣いの励行
 - ・ 人権教育に係る研修の充実
- 技術革新で国際化の進展に対応する教育の推進
 - ・ ICT機器や外国語指導助手の効果的な活用促進

V 生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

- 生涯学習の振興
 - ・ 広報紙等による情報の発信
 - ・ 人財（材）バンクの整備・充実
 - ・ 各ライフステージでの学習・発表の場の設定
 - ・ 放課後子ども教室と連携した放課後児童クラブの充実
 - ・ 社会教育関係団体との連携強化
- スポーツの振興
 - ・ 各種スポーツ団体の活動の充実・連携推進
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 文化の振興
 - ・ 文化連盟の活動支援
 - ・ 文化財の保護活動、郷土芸能の伝承活動の推進
 - ・ かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実
 - ・ 全国草原サミットの開催
 - ・ 町図書館、文化ホールの管理・運営の充実

IV 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

- 教職員の資質向上
 - ・ 地域の子どものもとに生きる教職員の育成
 - ・ 川南町教育研究所の研修充実
 - ・ 教職員研修の充実とOJTの推進
- 学校における安全、安心の確保
 - ・ 地域と連携した安全体制の充実と安全、安心な学校施設の整備
- 学校の教育環境の整備・充実
 - ・ 教育環境の整備・充実
 - ・ 学校規模適正化の継続的な検討



川南小 見守り隊



通山小 あいさつ日本一流



東小 百人一首大会



多賀小 かんかん踊り



山本小 朝のボランティア



唐瀬原中 あいさつ運動



国光原中 職業講話

目 次

宮崎県教育基本方針・宮崎県人権教育基本方針	1
平成30年度川南町教育委員会 実施目標	2
平成30年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳	4
川南町教育基本方針・川南町人権教育基本方針	6
平成30年度ふるさと川南の教育の推進にあたって	7
1 目指す町民像	7
2 基本的な考え方	7
3 総合的かつ計画的に取り組む施策	8
4 平成30年度重点事項について	9
5 具体的施策	11
6 平成30年度教育課事業計画	15
平成30年度川南町立小・中学校の学級編制状況	26
平成31年度から平成33年度までの児童・生徒数及び学級数増減見込み	27
平成30年度学校給食計画	28
川南町教育支援教室（フロンティアルーム）概要	29
平成30年度教育課施策（概要図）	30
平成30年度川南町小・中学校校長会組織表	31
平成30年度学校医・学校歯科医及び薬剤師	33
平成30年度教育事務分掌表	34
学校経営方針概要及び職員配置	36
川南町立川南小学校	37
川南町立通山小学校	39
川南町立東小学校	41
川南町立多賀小学校	43
川南町立山本小学校	45
川南町立唐瀬原中学校	47
川南町立国光原中学校	49
平成30年度川南町立小・中学校研究主題	51
平成30年度川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書	52
学校紹介	55

【宮崎県教育基本方針】

本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、

「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」

をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成をめざします。

【宮崎県人権教育基本方針】

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」と世界人権宣言はうたっています。すべての人はいかなる事由による差別も受けることなく、生命、自由及び身体の安全を確保し、それぞれの幸福を追求する権利を有しています。

本県においては、これまで宮崎県同和教育基本方針等に基づいて、真に差別をなくしていく意志と実践力とをもった人間の育成を目指し、日本国憲法に保障されている基本的人権にかかわる課題の解決に努めてきました。

しかし、今なお、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な人権問題が存在しています。さらに、国際化、情報化、少子高齢化などの社会の急激な変化に伴い、新たな人権問題も発生しています。

そのため、宮崎県教育委員会では、これまでの取組の成果や課題、「宮崎県人権教育・啓発推進方針」の趣旨などを踏まえ、次のように人権教育を推進し、県民一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し合い、共に生きる社会の実現を目指します。

- 1 学校教育においては、幼児児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、幼稚園（保育所）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等が相互に連携を図り、全教育活動を通して人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、実践力を養うことに努めます。
- 2 社会教育においては、各種学級・講座等の機会において、基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の高揚に努めます。
- 3 家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールの尊重、善悪の判断など子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行うとともに、大人も子どもも共に人権感覚が身に付くように努めます。
- 4 人権教育を積極的に推進するため、人権及び同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などのあらゆる人権侵害をなくしていく意志と実践力とをもった指導者の養成や研修の充実に努めます。

本方針の実施に当たっては、教育の中立性を確保するとともに、市町村教育委員会及び関係諸機関との連携を図りながら、広く県民の理解と協力を得て推進します。

川南町教育委員会

1 教育長及び教育委員

教 育 長	木 村 誠	(中央地区自治公民館)	平成 25 年 1 2 月 2 6 日～
教育長職務代理者	内 野 宮 恵	(川南西地区自治公民館)	平成 25 年 1 0 月 1 日～
教 育 委 員	富 山 美 津 子	(通山地区自治公民館)	平成 28 年 1 2 月 1 9 日～
教 育 委 員	黒 木 実	(多賀地区自治公民館)	平成 27 年 4 月 1 日～
教 育 委 員	小 嶋 久 美 子	(川南西地区自治公民館)	平成 27 年 3 月 2 7 日～

平成 30 年度 川南町教育委員会の実施目標

2 教育委員会の活動

項 目		実施事項	
大	小		
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営改善	教育委員会会議の開催回数	教育委員会会議を定期的及び随時開催し、教育に関する諸問題を協議することで一層の教育の推進に努める。
		教育委員会会議の運営上の工夫	教育委員による個別学校訪問の実施や町長部局、議会等との交流を図り教育の推進に努める。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	教育委員会会議の傍聴	教育委員会会議開催について広報し、開かれた教育委員会に努める。
		議事録の公開、広報	教育委員会の活動についての広報を町ホームページ等を活用して発信する。
	(3)教育委員会と事務局との連携	教育委員会と事務局との連携強化	教育委員会会議開催時に現状報告及び意見交換を実施し、連携を図る。
	(4)教育委員会と町長部局との連携	教育委員会と町長との意見交換会の実施	教育委員会・町長部局間との意見交換会を実施し、状況等の情報共有に努める。
	(5)教育委員の自己研鑽	研修会への参加状況	国・県及び児湯地方教育委員会連絡協議会主催の研修会等に積極的に参加するとともに、新学習指導要領に基づく実施状況や特別支援教育等の状況把握等のための研修を行う。
	(6)学校及び教育施設に対する支援、条件整備	学校訪問	定期的に学校訪問を行うとともに、教育委員を学校担当制とし、より密接な情報収集と課題等の改善に向けて助力する。
		所管施設の訪問	学校給食共同調理場を含む所管施設の訪問を実施し、課題等の改善支援に向けて助力する。

3 教育委員会が管理執行する事務

項 目		実 施 事 項
大	中	
2 教育委員会 が管理執行 する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。	事務の管理及び執行の状況等について随時に報告を求める。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	関係法令の改廃や住民ニーズとの整合性を確認の上、審議決定する。
	(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(5) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定による点検及び評価に関すること。	自己評価及び評価委員による評価を実施した後、その結果を公表する。
	(6) 歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申出に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(7) 教育振興基本計画に関すること。	本計画の策定状況について随時報告を受け、教育委員の意見が十分に反映されるようにする。
	(8) 教科用図書の採択に関すること。	教科用図書見湯採択地区採択協議会の会議により次回採用の教科用図書について協議を重ね、決定する。
	(9) 通学区域に関すること。	川南町通学区域規則に基づき、状況に応じて審議決定する。
	(10) 文化財の指定及び指定の解除に関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(11) 附属機関の委員の任免並びに委嘱及び解嘱に関すること。	関係法令、例規等に基づき、協議決定する。
	(12) 県費負担市町村職員の任免その他進退に係る内申に関すること。	関係法令に基づき、協議決定する。
	(13) 教育財産の取得及び処分のうち、重要なものに関すること。	状況に応じ審議決定する。
	(14) 教育委員会と職員団体との協定に関すること。	状況に応じ協議する。

平成30年度川南町一般会計予算と教育課関係予算の内訳

1 川南町一般会計歳入歳出予算(当初)

総額 9,010,000千円(前年度比 15.3%増)

2 教育課関係予算

総額 598,420千円(前年度比 5.8%減)

3 教育課関係予算の内訳

予算項目	平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	増減(千円)	対前年度比(%)
2 総務費	94	281	△ 187	△ 66.5
1 総務管理費	94	281	△ 187	△ 66.5
11 諸費	94	281	△ 187	△ 66.5
3 民生費	38,265	24,944	13,321	53.4
2 児童福祉費	38,265	24,944	13,321	53.4
5 児童館費	38,265	24,944	13,321	53.4
6 農林水産業費	6,546	3,774	2,772	73.4
1 農業費	6,546	3,774	2,772	73.4
8 農村公園管理費	0	3,774	△ 3,774	△ 100.0
12 農村センター管理費	3,612		3,612	100.0
13 公園管理費	2,934		2,934	100.0
8 土木費	21,084		21,084	100.0
3 都市計画費	21,084		21,084	100.0
5 都市公園費	21,084		21,084	100.0
10 教育費	532,431	606,578	△ 74,147	△ 12.2
1 教育総務費	113,914	112,798	1,116	1.0
1 教育委員会費	2,758	2,760	△ 2	△ 0.1
2 事務局費	111,156	110,038	1,118	1.0
2 小学校費	103,171	94,762	8,409	8.9
1 学校管理費	57,321	51,515	5,806	11.3
2 教育振興費	40,179	36,755	3,424	9.3
3 保健体育費	5,671	6,492	△ 821	△ 12.6
3 中学校費	66,175	81,041	△ 14,866	△ 18.3
1 学校管理費	38,120	53,220	△ 15,100	△ 28.4
2 教育振興費	24,867	24,313	554	2.3
3 保健体育費	3,188	3,508	△ 320	△ 9.1
4 社会教育費	159,800	185,124	△ 25,324	△ 13.7
1 社会教育総務費	56,077	66,571	△ 10,494	△ 15.8
2 公民館費	1,375	1,553	△ 178	△ 11.5
3 文化施設費	94,898	112,243	△ 17,345	△ 15.5
4 文化財保護費	7,450	4,757	2,693	56.6
5 保健体育費	89,371	132,853	△ 43,482	△ 32.7
1 保健体育総務費	8,914	9,684	△ 770	△ 8.0
2 保健体育施設費	183	39,757	△ 39,574	△ 99.5
3 学校給食費	80,274	83,412	△ 3,138	△ 3.8
合 計	598,420	635,577	△ 37,157	△ 5.8

教育課関係予算の概要

予算費目		主な内容
総務費		
総務管理費	諸費	日本三大開拓地交流事業のうち随行職員の旅費
民生費		
児童福祉費	児童館費	放課後児童クラブに必要な費用
農林水産業費		
農業費	農村センター管理費	農村環境改善センターの維持管理に必要な費用
	公園管理費	東地区運動公園の維持管理に必要な費用
土木費		
都市計画費	都市公園費	運動公園及び高森近隣公園の維持管理に必要な費用
教育費		
教育総務費	教育委員会費	教育委員の報酬、旅費その他運営に必要な費用
	事務局費	A L T報酬、教育支援教室指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習センター施設の維持管理費を含む運営費用
小学校費	学校管理費	学校管理に必要な維持管理費用
	教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
	保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
中学校費	学校管理費	学校管理に必要な維持管理費用
	教育振興費	教材等学校の教育振興に必要な費用
	保健体育費	学校医報酬等学校の保健体育に必要な費用
社会教育費	社会教育総務費	社会教育委員報酬、社会教育指導員報酬及び職員の給与等並びに生涯学習活動に必要な費用
	公民館費	公民館の維持管理に必要な費用
	文化施設費	文化ホール自主事業、図書購入費用及び文化ホール・図書館複合施設の指定管理に必要な費用
	文化財保護費	文化財保護審議会委員報酬、有形・無形文化財の保護保存及び維持管理に必要な費用
保健体育費	保健体育総務費	スポーツ推進委員報酬及びスポーツ関係に必要な費用
	保健体育施設費	学校施設の一般開放に必要な経費
	学校給食管理費	学校給食の調理等業務委託費及び学校給食共同調理場施設の維持管理に必要な費用

本町の教育は、教育基本法、県教育基本方針、県人権教育基本方針に示された人間尊重の精神を基調とし、さらに川南町第5次長期総合計画、川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）を受け、川南町教育基本方針を定め、学校教育及び社会教育を次のように進めていくものとする。

川南町教育基本方針

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

川南町の教育は、ふるさと川南を愛し、先人から伝わる融和と開拓精神をもち、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や目標をもって、その実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成と生涯にわたって学び続け「自然と調和した、輝くまち新生かわみなみ」を創造し、飛躍・発展させることができる教育環境づくりを推進する。

川南町人権教育基本方針

川南町教育委員会は、一人一人が人権について正しい理解を深め、人権を相互に尊重し、共に生きる社会の実現と基本的人権に係る問題の解決においては、教育の果たす役割が極めて重要であるとの認識に立って人権尊重の教育に当たる。

学校教育及び社会教育においては、日本国憲法、教育基本法の内容、県人権教育基本方針に基づいて人権教育を推進する。人権問題は、多くの人々の努力によって解決に向けて進展している。しかし、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人などに関する様々な問題が存在している。さらに国際化、少子高齢化、情報化などの社会の急激な変化に伴う新たな問題も発生している。そのため、次のように人権教育を推進していく。

- 1 学校教育においては、児童生徒の発達段階及び学校や地域の実情を踏まえ、小・中学校が相互に連携を図り、全教育活動を通じて人権についての正しい知識を身に付け、人権を尊重する意識や態度を育成し、思いやりのある社会を築こうとする実践力を養うことに努める。
- 2 社会教育においては、各種学級、講座等の機会において基本的人権の尊重を基調とする学習を充実し、人権が一人一人の身近な問題であるとの認識を深め、日常生活において人権への配慮が態度や行動に表れるような人権感覚の高揚に努める。また、家庭教育に関しては、保護者に対する学習機会等を提供し、幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、社会的ルールへの尊重、善悪の判断等子どもの健全な人間形成の基礎を育むことができるような支援を行い人権感覚が身につくように努める。
- 3 人権教育を積極的に推進するために、人権及び同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に関する深い認識に基づいた、真に差別などあらゆる人権侵害をなくしていく強い意志と実践力をもった指導者の養成や研修に努める。

【平成30年度ふるさと川南の教育の推進にあたって】

1 目指す町民像

「川南町教育基本方針」として、「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり」をスローガンに掲げ、その具現化を図るために、子どもたちはもとより、町民全てを対象として施策を展開します。

そこで、具体的な町民の姿を、「目指す町民像」として設定しています。

《目指す町民像》

- 夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人
- ふるさと川南を愛し、地域や社会の発展に主体的に参画する人
- グローバルな視野をもって活動する人

この「目指す町民像」の実現に向けて、次に示す施策に総合的かつ計画的に取り組んでいきます。

2 基本的な考え方

総合的かつ計画的に取り組む施策は、全般にわたって、次のように「横の連携」と「縦の接続」を重視して推進します。

(1) 「横の連携」(学校、家庭、地域の企業・文化団体等の多様な主体の役割分担を踏まえた連携、協働)

生涯にわたって様々な学びや活動に取り組んできた地域の人や企業等で活躍する人は、かけがえのない貴重な教育資源です。社会全体で総合的に教育に取り組むためには、町民一人一人がこれまで身につけた知識や経験、技術などを学校や家庭、地域における様々な活動の中で生かすことが必要です。

そのため、これまで推進してきた学校や家庭、地域が連携した取組を基盤として、地域の企業やNPO法人、文化団体等の多様な主体が一体となった取組をこれまで以上に進めるなど、人と人との「絆」、地域における様々な「絆」を深め、社会全体の教育力を強化するための「横の連携」を重視して取組を推進します。

(2) 「縦の接続」(生涯学習社会の実現に向けた、人生の各段階における活動の場の接続)

これからの新しい知識や情報、技術があらゆる領域で活動の基盤となる知識基盤社会の進展の中で、町民一人一人が必要とする知識、技術を習得し、生涯にわたって自己実現を目指すとともに、地域社会の中で身につけた知識や技術などを生かし活躍するなど、学びが循環する社会づくりを積極的に進め、「生涯学習社会」の一層の実現を図る必要があります。

そのため、保育所等、小学校、中学校の一貫教育の推進や学校教育と社会とのつながりを一層深めることが必要です。また、町民の誰もが生涯を通じて学習活動やスポーツ、文化活動等に取り組んだり、地域社会の一員として活動したりしながら自らを磨き高めていく環境づくりを進めるとともに、その学習成果を地域づくりや子どもたちの教育に積極的に還元できる機会を充実するなど、青少年期、成人期、高齢期等の人生の各段階における活動の場をつなぐ「縦の接続」を重視して取組を推進します。

3 総合的かつ計画的に取り組む施策

※ 施策目標Ⅰ～Ⅴの設定は、川南町教育大綱による

施策目標Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進

人口減少、少子高齢化など社会が大きく変化する中で、川南町を支える人づくりにあたっては、町民一人一人が、家庭や地域社会の一員としての意識を高め、それぞれの役割をしっかりと果たすなど、地域社会全体の教育力の向上を図ることが必要なことから、次のような取組を進めます。

- 1 学校や家庭、地域及び企業、文化団体等が一体となって取り組む教育の推進
- 2 家庭や地域の教育力の向上
- 3 開かれた学校づくりの推進

施策目標Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進

これからの学校教育においては、「知・徳・体」の調和を図りながら、子どもたちに生きる力を一層身に付けさせるとともに、共生社会の実現を目指す特別支援教育や人権を相互に尊重し、共に生きる社会づくりを目指す人権教育を推進することなどが、これまで以上に必要となっていることから、次のような取組を進めます。

- 1 就学前教育の充実
- 2 確かな学力を育む教育の推進
- 3 豊かな心を育む教育の推進
- 4 健やかな体を育む教育の推進
- 5 共生社会を目指す特別支援教育の推進
- 6 人権が尊重される社会を目指す教育の推進
- 7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進

施策目標Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

これからの社会を生きる子どもたちには、自立した一人の人間として力強くたくましく生き抜く力を育むとともに、ふるさと川南を愛し川南を支え、その発展に貢献する気概に満ち、地域社会をよりよくしていく活動に積極的に取り組もうとする意識や態度などの育成が重要なことから、次のような取組を進めます。

- 1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進
- 2 地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進
- 3 キャリア教育の推進

施策目標Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

町民一人一人が、子どもたちを「地元の学校に入学させたい」「地元の学校に出してよかった」と思われる魅力ある学校づくりに取り組みます。

また、次代を担う子どもたちの健やかな成長を図るためには、様々な子どもの学びや育ちを支える教育環境の整備、充実を一層推進する必要があることから、次のような取組を進めます。

- 1 教職員の資質向上
- 2 学校における安全、安心の確保
- 3 学校の教育環境の整備、充実

施策目標Ⅴ 生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

川南町が今後とも輝き続け活力を維持し発展していくためには、町民一人一人が夢や希望を抱き、生涯にわたって学びを深めたり学び直しをしたり、新たな学びに取り組んだりしながら自らを磨き高めることやスポーツや文化活動に取り組んだり挑戦したりするなど、様々な取組の中で自己実現を目指すとともに、身に付けた知識や経験、技術等を社会に還元するなど、学びが循環する社会づくりが必要なことから、次のような取組を進めます。

- 1 生涯学習の振興
- 2 スポーツの振興
- 3 文化の振興

4 平成30年度重点事項について

平成33年3月までの川南町の教育の方向性を示した川南町教育大綱（川南町教育振興基本計画）の確実な推進のためには、学校教育関係者、社会教育関係者をはじめ、町民が一体となった各立場での推進が必要です。

平成29年9月に実施した「ふるさと川南の教育に関する調査」の結果を見ると、児童生徒の生活習慣等に関する個々の質問に対しては肯定的な回答の割合が高く、概ね良好であると言えます。しかし、経年比較してみると、小・中学生ともに「今の学校で良かったと思う」という質問に対する肯定的な回答の割合が下降するなど、愛校心や郷土愛が課題になってきています。また、校種別に分析すると、小学生には豊かな心を育む情操教育や地域貢献への意識付け、中学生には思いやりの心や人権感覚を高めていく手立てが必要だと考えられます。

そこで、平成30年度は、特に以下の施策に重点を置いて推進します。

施策目標Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進

これまでの学校教育や社会教育の取組を継承しつつも、これからの時代にあった新しい教育環境づくりに向けた取組を期待します。

- 地域学校協働活動の推進に向けた「Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業（学校支援地域本部事業）」の展開
- 学校支援コーディネーターの継続配置と地域連携コーディネーターの連携強化
- コミュニティ・スクールの検討

施策目標Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進

知育・徳育・体育のバランスのとれた教育推進を前提に、川南町ニューフロンティア教育研究会と連携し、本町の教育的課題の解決に向けて取り組むことを期待します。

- 重要な教育的課題である学力向上のための学習指導の充実と読書活動の充実
- 生徒指導の3機能及びキャリア教育の視点からの教育活動の推進
- 体験活動を生かした道徳教育の充実と児童会・生徒会活動の充実
- 各学校のいじめ防止基本方針を基にした積極的な生徒指導の充実
- 児童生徒と教職員の人権感覚を高める人権教育の推進

施策目標Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

ふるさと川南を愛し川南を支える子どもたちを育むために、ふるさと学習の充実を期待します。

- 「ふるさと学習」の充実とボランティア活動など地域に貢献する活動への積極的な参画の推進
- 地域人財（材）の活用や核となる体験活動を位置付けたキャリア教育の推進

施策目標Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実

地域の教育力の要として教育委員会が示した「教職員へのメッセージ」を意識し、「児童生徒とともに学び続ける教職員」として常に向上心をもって取り組むことを期待します。

- 教職員の専門性を高めるための校内研修を中心としたOJTの推進、教育研究所研究員と連携した学校支援
- 教育環境の整備・充実
- 学校規模適正化の継続的な検討

施策目標Ⅴ 生涯を通じて学び挑戦できる社会づくりの推進

社会教育においては、各ライフステージとリンクさせた子どもを中核とした施策運営を行うことを期待します。

- 放課後の子どもたちに関する社会教育施策と福祉施策を一体化した放課後児童クラブの充実とそれらをサポートする支援体制づくり
- 総合型地域スポーツクラブの活動支援と町民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり
- 文化財の保護と活用、全国草原サミットの開催

<p>3 豊かな心を育む教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の授業の充実と地域への授業公開 ◎ 奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進 ○ 町立図書館と連携した読書活動の充実 ○ 生徒指導の3機能（自己存在感を与える、共感的な人間関係を育てる、自己決定の場を設ける）を生かした教育活動の推進 ○ 生徒指導体制及び教育相談体制の整備・充実 ○ 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実（フロンティアルームの充実） ◎ 各学校のいじめ防止基本方針を基にした「いじめ防止体制」の整備といじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり ○ 児童会活動・生徒会活動の充実 ○ Team Kawaminami 未来を拓け！輝く子どもの活動フォーラムの開催 	<p>学校教育 学校教育 文化スポーツ 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育</p>
<p>4 健やかな体を育む教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 立腰指導の徹底や体力向上プランの計画的・継続的な実践 ○ 体育・保健体育の学習指導の充実 ○ 食育（心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日）の推進 ○ 安全、安心な学校給食の実施と衛生管理の徹底 ○ 薬物乱用防止教育、性教育等の実施による健康教育の推進 ○ 防犯・防災教室等の実施による安全教育の推進 	<p>学校教育 学校教育 学校給食 学校給食 学校教育 学校教育</p>
<p>5 共生社会を目指す特別支援教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学相談の実施 ○ 教育支援委員会の開催 ○ 特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施 	<p>学校教育 学校教育 学校教育</p>
<p>6 人権が尊重される社会を目指す教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 一人一人を大切にする言葉遣いの励行 ○ 人権教育に係る研修の充実 	<p>学校教育 学校教育</p>
<p>7 技術革新や国際化の進展に対応する教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の効果的な活用促進と情報モラル教育の推進 ○ 外国語指導助手の配置と効果的な活用促進 	<p>学校教育 学校教育</p>

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅲ 自立した社会人、職業人を育む教育の推進	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進	◎ 開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実 ○ 川南の記念日等（リ・ボンデー、県民一斉「消毒の日」等）を利用した活動の啓発 ○ 学校行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進 ○ 三大開拓地交流事業の推進	文化スポーツ 学校教育 学校教育 生涯学習 文化スポーツ 生涯学習 学校教育
	2 地域課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進	○ 子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進	生涯学習
	3 キャリア教育の推進	◎ 核となる体験活動を位置付けた体系的なキャリア教育の推進 ◎ 地域人財（材）や企業等との連携によるキャリア教育の推進 ○ 職業講話、職場体験学習等の実施	学校教育 学校教育 生涯学習 学校教育

施策目標	活動施策	総合的かつ計画的に取り組む施策	担当係
Ⅳ 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実	1 教職員の資質向上	◎ 専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもとともに生きる教職員の育成 ○ 教職員研修の充実 ○ 川南町教育研究所の研修充実 ○ 町教育研究論文への積極的な応募 ○ 個人、同僚間、学校間の職員交流促進 ○ 町主催行事への主体的な参加を含む体験活動の推進	学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育 学校教育
	2 学校における安全、安心の確保	○ 地域と連携した安全体制の整備・充実 ○ 安全、安心な学校施設の整備	学校教育 教育施設
	3 学校の教育環境の整備・充実	○ 教育環境の整備・充実 ○ 川南町育英会資金の貸与等による修学支援の充実 ◎ 学校規模適正化の継続的な検討	学校教育 学校教育 学校教育

6 平成30年度 教育課事業計画

事業名等	内容
教育に関する町民意識の醸成 (啓発活動)	教育に関する広報・情報提供等を通して、子どもの教育や地域社会全体の教育力の向上に向けた、町民意識の醸成を図る。
ホームページ開設学校数 町報川南への掲載回数	H25年度 全学校開設済み H27年度 2回 H28年度 1回 H29年度 0回 H30年度(目標) 1回
Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業 (学校支援活動、人材バンク等) の拡充	豊かな教育資源や人材をもつ地域が、多方面から学校の児童生徒の教育活動を支える仕組みを構築することで、児童生徒に社会を実感させるとともに、地域づくりと活力あるコミュニティの形成に寄与する。
教育資源活用プラン ネットワーク研修会	H27年度10課等 H28年度10課等 H29年度10課等 H30年度(目標)11課等 H27年度 1回 H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度(目標) 1回
学校支援コーディネーターの継続 配置と地域連携コーディネーター の連携強化	学校支援コーディネーターの配置を継続し、地域連携コーディネーターとの連携を強化することにより、地域住民等のボランティアによる支援活動の充実を図る。
放課後子どもプラン運営委員会の 設置及び運営	放課後子ども教室と放課後児童クラブの在り方や適切な運営に関して、様々な見地から助言を受ける。
開催回数	H27年度 2回 H28年度 1回 H29年度 2回 H30年度(目標) 2回
「早寝・早起き・朝ご飯」、「家 読、お手伝い」、「笑顔で あいさ つ・声かけ運動!」、「ノーメディア ア・デー(アワー)」の推進	地域社会の連帯感を強め、思いやりの心を醸成するとともに、豊かな人間関係を育み、明るく安全で住みよい地域づくりを進めていくために、「大人も 子どもも『あいさつ名人』笑顔で あいさつ・声かけ運動」等を推進する。
お知らせ「かわみなみ」への掲載回数	H27年度 2回 H28年度 1回 H29年度 2回 H30年度(目標) 2回
家庭教育学級の充実	保護者が家庭で子どもを教育する心構えや子どもへの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の共通の問題を計画的かつ継続して学習できる場となるように内容等の充実を図る。
実施回数(町内7校の総数) 参加者数(町内7校の総数)	H29年度 59回 H30年度(目標) 65回 H29年度1,511人 H30年度(目標)1,600人
学校からの情報発信の充実	ホームページ等を活用したり、オープンスクールを実施したりすることにより、日常的に学校の情報を提供し、保護者や地域住民との相互理解を図る。
ホームページ開設学校数 オープンスクール実施学校数	H25年度 全学校開設済み H25年度より全学校実施
学校関係者評価委員会の充実	学校の取組に対して、積極的に保護者、地域住民等による評価を受けることにより、地域に開かれた学校づくりを推進する。
参加者数 唐瀬原中学校区 国光原中学校区 開催回数 唐瀬原中学校区 国光原中学校区	H25年度より10人 H25年度より10人 H27年度10回 H28年度10回 H29年度10回 H30年度(目標)10回 H27年度 9回 H28年度 8回 H29年度 8回 H30年度(目標) 8回
発達障がいや言語(ことば)の遅 れのある子どもへの支援	保健センターと関係の保育所や特別支援学校、町立小学校特別支援コーディネーター等がネットワークをもち、療育支援体制の整備を推進する。
ネットワーク会議の開催数	H29年度 2回 H30年度(目標) 2回

事業名等	内 容
各種学力テスト等の分析結果を生かした学習指導の改善	小・中学生の学力の実態や学習状況を把握・分析し、学校の実態に応じた学力向上の取組を推進する。
みやざき学力・学習状況調査結果で県平均以上学校数 H27年度 2校 H28年度 3校 H29年度 3校 H30年度(目標) 5校 CRT等実施校 H27年度 5校 H28年度 5校 H29年度 5校 H30年度(予定) 5回	
児童生徒の言語活動の充実	知的活動(論理や思考)やコミュニケーション、感性・情緒の基盤といった言語の役割を踏まえながら、各教科等の目標を実現する手立てとして言語活動の充実を図る。
学習成果としての作文や書写、絵画などの新聞等への投稿促進	各教科等での学習した成果を新聞等に投稿することにより、児童生徒の学習意欲の高揚を図る。
宮日新聞掲載回数 H28年度 123回 H29年度 103回 H30年度(目標) 130回	
今求められている指導力を高めるための研修等への参加促進	道徳の教科化や外国語科の新設など、新しい学習指導要領に係る研修等への積極的な参加を促進する。
冊子「かわみなみの教育力」・進級テスト等の積極的な活用と家庭と連携した家庭学習の充実	川南町教育研究所で作成した冊子やテスト等の積極的な活用を推進するとともに、各家庭と連携して家庭学習で取り組む具体的な内容を明らかにし、家庭学習の充実と習慣化を図る。
進級テスト1級達成者の割合 「家庭学習のすすめ」発行回数	H29年度 33% H30年度(目標) 50% H27年度1回 H28年度1回 H29年度0回 H30年度(目標) 1回
キャリア教育の視点からの学習指導の改善・充実	キャリア発達に必要な基礎的・汎用的能力の育成を意識した学習指導の改善・充実に努める。
学習指導の改善・充実のための学校訪問の充実	各学校における学校運営状況の把握や授業力向上のための校内研修の取組に対し、指導や情報の提供を行い、研修の充実と指導力向上を支援する。
計画訪問回数 H27年度 唐瀬原中学校区4回 H28年度 国光原中学校区3回 H29年度 唐瀬原中学校区4回 H30年度(予定) 国光原中学校区3回 視察訪問回数 H27年度 国光原中学校区3回 H28年度 唐瀬原中学校区4回 H29年度 国光原中学校区3回 H30年度(予定) 唐瀬原中学校区4回	
川南町ニューフロンティア教育研究会の充実(小中一貫教育、学校間連携の推進)	各学校が特色ある教育課程の編制を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「町民の教育的関心」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。
開催回数 全体会(総会・代表者会) H26年度 3回 H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(予定) 3回 分科会 H26年度 3回 H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(予定) 3回	
道徳の授業の充実と地域への授業公開	参観日等を通して、保護者や地域住民へ積極的に道徳の時間の授業公開を行い、家庭や地域と連携した道徳教育の充実を図る。
授業公開回数 H28年度 7回 6校 H29年度 6回 6校 H30年度(目標) 7回 7校	
奉仕活動やボランティア活動等、体験活動を生かした道徳教育の推進	児童生徒の発達の段階に即して、自然体験や奉仕活動やボランティア活動といった社会体験活動を計画的かつ効果的に実施し、生命や自然を大切にする心や他人を思いやる優しさ、たくましさや協調性、奉仕の精神などの豊かな人間性、社会性、規範意識の育成を図る。
主催・共催事業 H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(目標) 4回	

事業名等	内容
町立図書館と連携した読書活動の充実	学校図書館と町立図書館が連携し、読書に親しむ機会を増やすことで、豊かな情操等を育み、言葉の感性や表現力、想像力を豊かにし、思考力を高める教育を推進する。
学校への図書貸出冊数	H28年度 11431冊 H29年度 12962冊 H30年度(目標) 13000冊
生徒指導の3機能を生かした教育活動充実	児童生徒一人一人が、自分の考え方や感じ方をもちながら、それを人前で表現し、互いに受容するような学習指導への改善・充実に努める。
生徒指導体制及び教育相談体制の整備・充実	いじめや不登校、非行等問題行動などの未然防止や早期解決を図るとともに、子どもたちの悩み等に対応するため、専門家や地域人材を活用するなど、教育相談体制の充実を図る。
学校教育に係る教育相談の電話番号等の周知回数	H27年度 2回 H28年度 2回 H29年度 1回 H30年度(目標) 2回
不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実(フロンティアルームの充実)	学校に登校できない児童生徒やその保護者に対して、教育相談や教育支援を行う。
利用児童生徒数	H27年度 3人(町内不登校児童数 11人) H28年度 4人(町内不登校児童数 12人) H29年度 6人(町内不登校児童数 11人) H30年度(目標) 3人
いじめをさせない、起こさせない、見逃さない学級や学校の風土づくり	いじめは決して許されないが、現実的にはどの子どもにも、どの学校にも起こり得るものであることを周知し、いじめ防止の徹底を図る。
いじめられたと回答した児童生徒数(いじめについてのアンケート)	H29年度 小学生183人 中学生25人 H30年度(目標) 小学生160人 中学生20人
児童会活動・生徒会活動の充実	児童会や生徒会の活動を活性化させるため、自主的な取組を支援する。
Team Kawaminami 未来を拓け!輝く子どもの活動フォーラムの開催	将来の川南を担う町内全小中学校の児童生徒代表が一堂に会し、学校での子どもたちの特色ある活動や取組についての発表と意見交換を行うことにより、学校生活の充実に生かすなど児童生徒の活動のさらなる活性化を図る。 年1回8月初旬
参加者数	H27年度 小学生168人 中学生153人 教職員 19人 保護者等50人 H28年度 小学生145人 中学生340人 教職員 41人 保護者等53人 H29年度 小学生165人 中学生303人 教職員 37人 保護者等57人 H30年度(予定) 小学生166人 中学生290人 教職員 40人 保護者等60人
立腰指導の徹底や体力向上プランの計画的・継続的な実践	体力づくりの推進を目指し、各学校において立腰指導や体力向上プランの計画的かつ継続的な実践に努める。
A・B判定児童生徒数の割合	H28年度 41.8% H29年度 38.4% H30年度(目標) 42%
体育・保健体育の学習指導の充実	各学校における体力・運動能力調査の結果を踏まえ、体育、保健体育の学習指導の充実を図る。
児童生徒の休み時間等を活用した体力の向上	朝の時間を使ったストレッチ運動や持久走、昼休み時間を使った縄跳び運動などにより、児童生徒の体力向上を図る。
食育(心身の健康と食の役割啓発及び地産地消、弁当の日)の推進	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身を育むための基礎を培うため、家庭や地域などと連携しながら、学校における食に関する指導の充実や地場産物の活用、「弁当の日」の推進に取り組む。
弁当の日実施校	H27年度 5校 各2回、2校 各3回 H28年度 5校 各2回、2校 各3回 H29年度 5校 各2回、2校 各3回 H30年度(目標) 7校 各2回
浜うどん	H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(目標) 3回
トロン汁	H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(目標) 3回
食に関するT・T授業	H27年度 20回 H28年度 20回 H29年度 29回 H30年度(目標) 30回

事業名等	内容			
安全、安心な学校給食の実施と衛生管理の徹底	栄養教諭等を中核とした学校、家庭、地域の連携による食に関する指導の推進体制の整備に努めるとともに、食物アレルギー対策など安全、安心な学校給食の実施に取り組む。			
食物アレルギー対応マニュアルの整備 児童生徒が献立どおり給食を食べられる日数の割合	H28年度作成		平成29年度運用開始	
	H29年度100%		H30年度(目標)100%	
薬物乱用防止教室、性教育等の実施による健康教育の推進	身近な生活に潜む薬物乱用、感染症の問題など、新たな健康課題にも対応しながら健康教育の推進を図る。			
薬物乱用防止教室の実施校 性教育の授業の実施校	H28年度 6校 H28年度 7校	H29年度 5校 H29年度 7校	H30年度(目標) 7校 H30年度(目標) 7校	
防犯・防災教室等の実施による安全教育の推進	安全に関して適切に判断する力や実践的な態度を育成するために、地域安全マップづくりや警察や消防等の専門家を活用した防犯・防災教室等の実施など効果的な取組に努め、生命尊重を基盤とした意図的かつ計画的な安全教育の推進に努める。			
防犯教室の実施校 防災教室の実施校	H28年度 4校 H28年度 7校	H29年度 4校 H29年度 7校	H30年度(目標) 7校 H30年度(目標) 7校	
就学相談の実施	保育所等を対象とした理解啓発活動の推進により、乳幼児期からの適切な支援や早期教育相談の充実を図り、就学移行期における適切な就学相談体制の確立に取り組むとともに、小・中学校における個別の教育支援計画等の活用を図り、関係機関と連携した支援体制の整備や支援の充実に努める。			
開催回数	H27年度 1回 H29年度 1回	参加幼児数 15人 参加幼児数 21人	H28年度 1回 H30年度(目標) 1回	参加幼児数 18人 参加幼児数 20人
教育支援委員会の実施	特別な支援が必要となる新就学児及び町立小中学校に就学中の児童生徒について、各校長及び特別支援コーディネーター、外部有識者等で構成し、必要な支援について協議を行い、教育委員会からの諮問に対して答申する。			
開催回数	H27年度 2回	H28年度 2回	H29年度 2回	H30年度(目標) 2回
特別な支援を要する児童生徒の指導に関する実践的研修の実施	多様な教育的ニーズに対応した専門研修プログラムの開発により、障がいの重度・重複化、多様化に対応できる特別支援教育担当教員の指導力の向上や、発達障がいに対応できる小・中学校の教員の養成に努めるとともに、特別支援教育の中心的役割を担う特別支援教育コーディネーターの専門性及び資質の向上を図る。			
研修開催回数	H27年度 1回	H28年度 1回	H29年度 2回	H30年度(目標) 1回
一人一人を大切にす言葉遣いの励行	全教育活動を通して自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるなどの人権感覚を育成するために、児童生徒の発達の段階や学校、地域等の実態を踏まえた学校としての人権教育の目標の設定や全体計画等の策定を行い、学校間の連携を図りながら校内推進体制の確立と充実に努めるとともに、取組の点検、評価を行う。また、具体的な取組の一つとして、言葉遣いの指導を行う。			
「人権が尊重されている学校になっている」と回答した児童生徒の割合	小学6年生 H28年度 93% H29年度 88% H30年度(目標) 92% 中学3年生 H28年度 89% H29年度 76% H30年度(目標) 85%			
人権教育に係る研修の充実	教職員自らの人権感覚の高揚と教職員の人権教育に関する専門的指導力の向上を図るために、参加体験型学習等の校内外研修に積極的に取り組み、人権尊重の精神が学校・学級全体にみながる教育基盤の整備に努める。			
各学校で実施された研修回数	H28年度 19回		H29年度 11回 H30年度(目標) 15回	

事業名等	内容
I C T機器の効果的な活用促進と情報モラル教育の推進（I C Tの整備）	情報通信技術（I C T）の活用や情報モラルに関する教育等を通して、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、教員のI C T活用指導力の向上や校務の情報化を図るなど、学校における教育の情報化を推進する。
コンピュータ 教職員配置数 H27年度97.0% H28年度より100% 児童生徒用数 H27年度 126台 H28年度218台 H29年度218台 H30年度（目標）218台	
外国語指導助手の配置と効果的な活用促進	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際的な視野で考える力の育成、コミュニケーション能力の向上など、国際化に対応した教育を推進する。夏季休業中等の保育所等での活用も推進する。
授業回数 H27年度 196回 H28年度 185回 H29年度 188回 H30年度（目標）288回	
開拓の歴史や川南の自然・文化財等を活用した「ふるさと学習」の充実	川南における自然、環境、歴史、伝統（文化、芸能）、産業、生活（料理、行事）、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。
活用した学校数 H27年度 7校 120回 H28年度 7校 120回 H29年度 7校 120回 H30年度（目標） 7校 120回 活用した団体数 H27年度 10団体 H28年度 10団体 H29年度 10団体 H30年度（目標） 10団体	
川南の記念日等（リ・ボンデー、県民一斉「消毒の日」等）を利用した活動の啓発	2月11日の「町制施行記念日」や7月1日の「リ・ボンデー」、毎月20日県で取り組む「県内一斉消毒の日」等の意義について理解し、感謝と生活に生かすことができる態度を育成する。
活用した学校数 H26年度 0校 0回 H27年度 0校 0回 H28年度1校 1回 H29年度 1校 1回 H30年度（目標）2校 2回	
学校行事や総合的な学習の時間等を活用した町歌斉唱や郷土芸能の伝承活動の推進	川南における自然、環境、歴史、伝統（文化、芸能）、産業、生活（料理、行事）、文化など、地域の持つ豊かで多様な教育資源を活用しながら、地域のよさや課題について理解を深め、「ふるさと川南」に対する誇りや愛着を育む。
運動会等で伝統芸能を発表した学校数 H27年度 7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度（目標）7校	
三大開拓地交流事業の推進	日本三大開拓地間の児童生徒の交流を促進することで、先人の残した業績を知り、地元への愛着とこれから町内外へ社会的貢献をしていこうとする態度を育成する。
参加人数 H27年度 22人 H28年度 20人 H29年度 20人 H30年度（予定）20人	
子ども会、公民館活動、ボランティア活動等への積極的参画の推進	子ども会、ボランティア活動、世代を超えた交流活動などの情報提供を行い、地域活動への子どもたちの積極的な参画を図り、地域のよさや課題にふれ、地域の一員として地域の課題解決に取り組む意識を高める。
子ども会加盟児童生徒数 H26年度 707人 H27年度 711人 H28年度 661人 H29年度 650人 H30年度（目標）650人	
核となる体験活動を位置付けた体系的なキャリア教育の推進	各学校におけるキャリア教育の年間指導計画の見直しを図るとともに、児童生徒の発達段階に配慮しながら、核となる体験活動を位置付けた体系的な取組を推進する。

事業名等	内容
地域人財（材）や企業等との連携によるキャリア教育の推進	地域の企業等との連携を推進し、実践的かつ体験的なキャリア教育の充実に取り組む。また、社会教育関係団体や企業、NPO法人、文化団体等の教育活動への参画を促すとともに、団体相互のネットワークの構築を図り、「子どもの夢や希望を育む」環境づくりを推進する。
キャリア教育を研究主題とする学校数 H26年度 1校 H27年度 1校 H28年度 1校 H29年度 1校 H30年度（目標）1校 企業等と連携した学校数 H26年度 7校 H27年度 7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度（目標）7校	
職業講話、職場体験学習等の実施	各学校でのキャリア教育を推進するために、職業講話、職場体験学習など具体的な活動の実施に努める。
実施回数 H28年度 4校6回（延べ） H29年度6校6回（延べ） H30年度（目標）7校7回（延べ）	
専門性を高め、使命感に徹し、地域の子どもたちとともに生きる教職員の育成	教職員評価制度における管理職と職員とのミーティングやフィードバックの充実に努めるとともに、評価結果を積極的に活用することにより、人材育成を推進する。
教職員研修の充実	教職員の資質向上を図るため、教育委員会が実施する体系的かつ計画的な研修の充実に努めるとともに、各学校のニーズに応じた校内研修等のサポートや教育情報の提供を積極的に実施する。
初任者研修 H27年度4回 H28年度4回 H29年度 0回 H30年度（予定）4回 10年経過研修 H27年度1回 H28年度1回 H29年度 1回 H30年度（予定）0回 町内視察研修 H29年度1回 H30年度（予定）1回	
川南町教育研究所の研修充実	教職員の資質の向上を目的に川南町学校教育研究所を設置、運営し、教職員が個人研究や共同研究を行える環境づくりを推進する。
研究員数 H26年度 7人（各学校1人） H27年度 13人（各学校2人） H28年度 14人（各学校2人） H29年度 14人（各学校2人） H30年度（予定）10人	
町教育研究論文への積極的な応募	未来を拓く確かな力をつける教育の創造を目指して、川南町立小・中学校における指導上における諸問題の解明と教職員のさらなる指導力の向上に資するため教育研究論文を募集する。
応募者数 H27年度 23編 H28年度 19編 H29年度 15編 H30年度（目標）20編	
個人、同僚間、学校間の職員交流促進	スーパーティーチャーの授業公開等への積極的な参加や校内・外におけるOJTの推進、校種の異なるTT授業の実施などにより、教職員の資質向上を図る。
STの授業公開への参加者数 異校種でのTT授業実施回数	H29年度 5校 9人（延べ） H30年度（目標）7校 12人（延べ） H29年度 4校 4回（延べ） H30年度（目標）7校 7回（延べ）
町主催行事への主体的な参加を含む体験活動の推進	地域への理解を深め、信頼される教職員を目指すため、町主催で行われるスポーツイベントや各種行事、ボランティア活動等への積極的な参加を推進する。
地域と連携した安全体制の整備・充実	「自らの危機を予測し、回避する能力を高める」安全教育を小中9年間を通して、発達段階に応じて継続的に推進する。
避難訓練実施学校数 地域における避難訓練参加（通浜地区）	H26年度 7校 H27年度 7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度（目標）7校 H26年度 1回 H27年度 1回 H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度（目標）1回

事業名等	内容
安全、安心な学校施設の整備	既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、快適な教育環境を整え、学習意欲の向上を目指す。
補修等工事	H27年度 工事10か所(小学校5、中学校5) H28年度 工事44か所(小学校29、中学校15) H29年度 工事89か所(小学校51、中学校38) H30年度(予定) 工事59か所(小学校40、中学校19)
教育環境の整備・充実	既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、快適な教育環境を整え、学習意欲の向上を目指す。
川南町育英会資金の貸与等による修学支援の充実	向学心に富みながら経済的理由により修学が困難な生徒に対する支援として、川南町育英会資金の貸与を勧める。
貸与者数	H27年度 42人 H28年度 44人 H29年度 44人 H30年度(目標) 50人
学校規模適正化の継続的な検討	今後の少子化の進展を踏まえ、町立小・中学校の在り方について、座談会やアンケート等を行い、方向性を協議する。
座談会開催回数(参加者数) アンケート実施回数	H30年度(目標) ※学校規模適正化審議会の設置 H30年度(目標) ※学校再編検討委員会の設置
広報紙等による情報の発信	学習者が必要とする様々な学習情報をいつでもどこでも入手でき、学習に参加できるように努めるとともに、個人が学習したことにより得られた経験や知識等が社会で発揮できるような体制を整備する。
発行回数	H27年度 12回 H28年度 12回 H29年度 12回 H30年度(目標) 12回
人材バンクの整備・充実	多様化する町民の学習ニーズに応え、町民が必要とする生涯学習に関する情報を広くかつ迅速に入手することができるように「人材バンク」等の充実を中心とした情報提供の充実に努め、町民の生涯学習を支援する。
登録数	H26年度 151事業所等 H27年度 184事業所等 H28年度 201事業所等 H29年度 192事業所等 H30年度(目標) 200事業所等
各ライフステージでの学習・発表の場の設定	地域の社会教育施設等において、各ライフステージにおける学習活動の支援の充実を図るとともに、個人が学習したことにより得られた経験や知識等が社会で発揮できるよう学びを生かす場の充実に努める。
各地区高齢者教室の開催(町内高齢者)	高齢者社会を健やかに生きる生活技術の習得を図る。 健康教育、人権教育、交通安全教育、消費生活の心得
開催回数 参加者延べ人数	H27年度 39回 H28年度 39回 H29年度 39回 H30年度(目標) 39回 H27年度1300人 H28年度1206人 H29年度1146人 H30年度(目標) 1200人
山茶花ふれあい学園の開催(概ね60歳以上)	多様化・高度化する社会環境や生活環境に対応した高齢者の学習意欲に応えるため、生きがいを求め幅広い分野について学習活動を行うとともに、地域のリーダー養成を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H27年度 20回 H28年度 23回 H29年度 23回 H30年度(目標) 23回 H27年度 400人 H28年度 339人 H29年度309人 H30年度(目標) 320人
女性講座(町内女性)	男女の意識改革、男女共同参画社会づくりのため、生活課題や社会課題に関する学習の機会を提供することにより、女性の連帯を強めるとともに資質の向上を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H27年度 1回 H28年度 2回 H29年度 2回 H30年度(目標) 2回 H27年度100人 H28年度122人 H29年度115人 H30年度(目標) 120人

事業名等	内容
成人式の開催	成人となったことを祝い励ますとともに、厳粛な式典の参加を通して、社会人としてのマナーを学ぶ機会として成人式典を開催する。1月3日(サン川南文化ホール)
参加者数	H27年度 120人 H28年度 158人 H29年度 153人 H30年度(目標) 150人
生涯学習講座 (一般町民)	町民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習の機会を提供するため、通年及び長期又は短期の学習講座を開催する。
開設講座数	H27年度 2講座 H28年度 3講座 H29年度 3講座 H30年度(目標) 6講座
開催回数	H27年度各20回 H28年度 61回 H29年度 47回 H30年度(目標) 30回
参加者人数	H27年度 33人 H28年度 47人 H29年度 49人 H30年度(目標) 50人
生涯学習大会の開催	個人や団体及び地域・学校等で取り組んだ学習や事業の実践報告、作品展示、講演会等を行うことにより、町民の生涯学習への関心を高めるとともに実践化への意欲を喚起し、生涯学習の振興と充実を図る。
発表参加人数	H27年度 14人 H28年度 14人 H29年度 48人 H30年度(目標) 20人
参加者数	H27年度 450人 H28年度 404人 H29年度 467人 H30年度(目標) 470人
放課後児童クラブの充実	児童福祉法の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子どもたち(放課後児童)に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。
年間参加者延べ人数	H26年度 16000人 H27年度 16600人 H28年度 27381人 H29年度 32662人 H30年度(目標) 33000人
放課後子ども教室推進事業 (元気っ子子ども教室) (小学生3年生以上)	地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行う。特に郷土愛を育む活動(農地活性化プロジェクト参加や各地区の歴史に触れる等)に努めている。
開催回数	H27年度 37回 H28年度 37回 H29年度 38回 H30年度(目標) 38回
年間参加者延べ人数	2683人 2203人 2181人 2200人
ジュニアリーダーの育成 (元気っ子サークル)	体験活動を通じ、人間としての「思いやりの心」や、「生きる力」を養い、リーダーとしての資質や能力を高める。
開催回数	H27年度 11回 H28年度 11回 H29年度 24回 H30年度(目標) 24回
社会教育関係団体との連携強化	県と連携し、社会教育関係事業に関係団体等の参画を促すとともに、指導者研修の充実や関係団体等とのネットワークの構築により、社会教育関係団体との連携強化に努める。
町PTA連絡協議会との連携	町内各学校のPTAで組織する町PTA連絡協議会に対して、適切な助言や支援を行う。
開催回数	H27年度 6回 H28年度 9回 H29年度 8回 H30年度(目標) 8回
青少年指導者の育成	健全な青少年を育成するために、研修会等を通じて町内の青少年を育成する指導者等を育成する。
研修会回数	H27年度 1回 H28年度 0回 H29年度 1回 H30年度(目標) 1回
町内巡回補導	H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(目標) 3回
スポーツ少年団、各種スポーツ団体の活動の充実及び連携推進	スポーツ少年団や各種スポーツ団体の活動の充実及び連携を推進することで、次代を担う子どもたちの体力・運動能力の向上を図るとともに、成人のスポーツ実施率を上げ、総合的に生涯スポーツの振興を図る。

事業名等	内容
スポーツ少年団入団式の開催	年度初めにスポーツ少年団員が集い入団式を行うことにより、少年団員としての自覚をもち、決意を新たにする場とする。
参加団体数 参加者数	H27年度 23団体 H27年度 400人 H28年度 21団体 H28年度 435人 H29年度 20団体 H29年度 453人 H30年度(目標) 19団体 H30年度(目標) 450人
スポーツ少年団指導者講習会等各種研修会の開催	スポーツ団体、体育・レクリエーション指導者を対象に各種研修会に派遣するとともに実技研修等を行い指導者としての資質の向上を図り、生涯スポーツの推進と充実を図る。
開催回数	H27年度 5回 H28年度 5回 H29年度 5回 H30年度(目標) 5回
スポーツ少年団交流大会の開催	スポーツ少年団活動の活性化を促進し、団相互の交流と親睦を図るとともに、心身ともに健全な青少年育成を目的に開催する。
開催回数 参加者数	H27年度 1回 H27年度 174人 H28年度 1回 H28年度 200人 H29年度 1回 H29年度 165人 H30年度(目標) 1回 H30年度(目標) 200人
各種スポーツ団体の育成及び活動の推進(スポーツ団体活性化事業)	スポーツ団体への指導助言及び財政的支援を行い、スポーツの振興とスポーツ団体の発展・活性化を図る。
町内のスポーツ団体数	H27年度 42団体 H28年度 40団体 H29年度 40団体 H30年度(目標) 40団体
スポーツ推進委員会の開催	地域の生涯スポーツの普及のために、学識経験者やスポーツ経験者等からなる推進委員会を設置し、多方面から意見を求め、本町のスポーツ振興施策に生かす。
開催回数	H27年度 12回 H28年度 12回 H29年度 12回 H30年度(目標) 12回
スポーツ教室(全町民)	健康増進、体力向上、競技力向上を図るとともに、スポーツの振興と生涯スポーツの推進を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H27年度 11回 H27年度 315人 H28年度 11回 H28年度 231人 H29年度 36回 H29年度 749人 H30年度(目標) 40回 H30年度(目標) 800人
町民バレーボール大会(全町民)	健康増進と体力向上を図るとともに、世代間の交流親睦を深め町民相互の連帯感を育み、地域の活性化を図る。
開催回数 参加者延べ人数	H27年度 1回 H27年度 315人 H28年度 1回 H28年度 300人 H29年度 1回 H29年度 322人 H30年度(目標) 1回 H30年度(目標) 350人
ふれあいスポーツ大会(自治公民館)	健康増進と体力向上を図るとともに、世代間の交流親睦を深め町民相互の連帯感を育み、地域の活性化を図る。 4月～3月(運動公園・農村公園ほか)
開催回数 参加者延べ人数	H27年度 20回 H27年度 2400人 H28年度 14回 H28年度 1197人 H29年度 17回 H29年度 1506人 H30年度(目標) 20回 H30年度(目標) 1600人
町民スポーツ祭(町民体育大会)の開催	オリンピック開催年に町民が一堂に会し、スポーツの振興、町民の元気、魅力、各地域の地域力を発信する。
開催回数 参加者延べ人数	H24年度 1回 H24年度 1200人 H28年度 1回 H28年度 1682人 H32年度(目標) 1回 H32年度(目標) 1700人
総合型地域スポーツクラブの活動支援	年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、より多くの町民のニーズに応じた活動が行える総合型地域スポーツクラブの充実を図り、多くの住民が参加する環境づくりを行う。
会員数	H27年度 80人 H28年度 108人 H29年度 117人 H30年度(目標) 130人

事業名等	内容
ロードレース大会 i nかわみなみの充実	ランニング愛好者等の健康と体力増進、スポーツイベントを通じた交流の輪の広がりによる地域活性化を図る。
参加者数	H27年度 606人 H28年度 986人 H29年度 925人 H30年度(目標) 1000人
各種スポーツ施設の管理、利用者間の調整	スポーツ施設の利便性の向上に努めるとともに、より多くの町民が様々なスポーツで利用できるよう施設利用の調整と施設の充実を図る。
利用者数	H26年度 119249人 H27年度 79467人 H28年度 99746人 H29年度 88095人 H30年度(目標) 100000人
各種スポーツ施設の整備	既存の建物について、その性能を維持し将来にわたり安全、安心な活用を図るため計画的な早期保全による建物の長寿命化を推進する。また、スポーツに適した環境を整え、より多くの町民が利用できるよう施設の充実を目指す。
補修等工事	H29年度 工事11か所 H30年度(予定) 工事1か所 ※工事及び10万円以上の修繕
文化連盟の活動支援	文化連盟の活動を支援することにより、町民が文化に親しむ機会を充実させるとともに、町民の文化活動を支える環境の整備に努める。
文化財保護審議会の開催	町民の文化活動をより一層活性化するため、学識経験者などからなる委員会を開催し、意見を反映させることで、教育機関、企業等と行政とが相互に連携、協働できる体制の整備に努める。
開催回数	H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度(目標) 3回
文化財の保護活動の推進・啓発	長い歴史と豊かな風土に培われ守り伝えられた有形、無形の文化財を、大切に保護、継承し、積極的に活用する環境づくりを推進する。
開催回数	H27年度 44回 H28年度 44回 H29年度 44回 H30年度(目標) 44回
文化財保護の啓発(文化財パンフレットの活用)	本町の様々な文化資源の魅力について町民が理解を深め、活用につなげられるよう、文化資源の活用や情報発信に取り組む。
フェイスブック掲載	H27年度 15回 H28年度 8回 H29年度 4回 H30年度(目標) 10回
郷土芸能の伝承活動の充実(通浜三尺棒踊り、登り口奴踊り、沓袋百萬遍、川南盆踊り、唐瀬子ども神楽)	これまでに町民が培ってきた生活に根ざした文化や地域の伝統文化を風化させることなく、確実に次世代に継承するため、子どもたちに文化を伝える機会の提供や、地域に残る文化の保存に努める。
郷土芸能の伝承活動に取り組む学校数	H27年度 7校 H28年度 7校 H29年度 7校 H30年度(目標) 7校
全国草原サミットの開催	町民の文化に対する意識の向上及び文化財に対する理解と関心を深めるために、平成30年度に「全国草原サミット」の開催する。
図書館、文化ホールの管理	文化に係る各分野における鑑賞、学習、交流、連携など、文化を育む拠点としての機能の充実を図り、町民にとってより身近で活用しやすい施設づくりに努める。(指定管理者により実施)
図書館利用者数	H26年度 60595人 H27年度 74401人 H28年度 73200人 H29年度 70832人 H30年度(目標) 72000人
文化ホール利用者数	H26年度 22802人 H27年度 25749人 H28年度 25281人 H29年度 26305人 H30年度(目標) 27000人

事業名等	内 容
読書推進活動（図書館の貸出業務等の充実）の促進	生涯学習の拠点施設の一つとして、町民の多様化、高度化する学習・情報ニーズに対応するため、図書資料の収集、整理・保存に努め、利用促進を図る。（指定管理者により実施）
貸出し冊数	H26年度 55197冊 H27年度 67258冊 H28年度 74536冊 H29年度 81652冊 H30年度（目標）82000冊
貸出し延べ人数	H26年度 12343人 H27年度 14825人 H28年度 17281人 H29年度 18493人 H30年度（目標）19000人
読書感想文・画コンクール（小・中学生）	小・中学生を対象に、読書感想文・画コンクールを行い、読書意欲の喚起を図る。（指定管理者により実施）
応募者数	H27年度 142人 H28年度 138人 H29年度 149人 H30年度（目標）140人
絵本の読み聞かせ（幼児及び低学年）	子どもの情操と想像力を豊かにするとともに、親子のふれあいを深める絵本の読み聞かせを実施する。（指定管理者により実施）
開催回数	H27年度 24回 H28年度 50回 H29年度 51回 H30年度（目標）52回
参加者延べ人数	H27年度 322人 H28年度 386人 H29年度 487人 H30年度（目標）500人
図書館まつり（町民全般）	子どもから大人まで楽しめる行事を企画し、（図書館を身近に感じてもらい）、読書推進と図書館利用の向上を図る。（指定管理者により実施）
開催回数	H27年度 1回 H28年度 1回 H29年度 1回 H30年度（目標）1回
参加者延べ人数	H27年度 1443人 H28年度 817人 H29年度 180人 H30年度（目標）300人
読み聞かせ講座（町民全般）	読書活動に関わるボランティアや幼児・児童を持つ保護者を対象に読書活動の支援者等の技術向上を図り、読み聞かせの普及を図る。（指定管理者により実施）
開催回数	H27年度 1回 H28年度 5回 H29年度 1回 H30年度（目標）4回
参加者延べ人数	H27年度 20人 H28年度 83人 H29年度 40人 H30年度（目標）50人
図書館協議会	町民の代表者である有識者等が、図書館運営や町民の読書推進に向けて協議する。（指定管理者により実施）
開催回数	H27年度 3回 H28年度 3回 H29年度 3回 H30年度（目標）3回
文化意識向上の推進（文化ホール運営委員会）	町民の代表者である有識者等が、文化ホール運営や町民の文化面の充実に向けて協議する。（指定管理者により実施）
開催回数	H27年度 3回 H28年度 2回 H29年度 2回 H30年度（目標）2回
かわみなみ歌声あふれるまちづくり事業の充実（一般、学生、児童生徒）	町内外の合唱団の交流による音楽のまちづくり ・コンサート（8・3月） ・ミニコンサート（年2回） ・合唱団交流（年2回） ・合唱指導（小・中・高・一般）
サマーコンサート参加者数	H26年度 405人 H27年度 471人 H28年度 497人 H29年度 592人 H30年度（目標）500人
スプリングコンサート参加者数	H26年度 517人 H27年度 463人 H28年度 432人 H29年度 466人 H30年度（目標）500人

平成30年度 川南町立小・中学校の学級編制状況

平成30年5月1日現在

学 校 名	学年別児童・生徒数及び学級数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
川南小学校	3	3	2	2	2	3	4	19
	61	70	70	74	64	83	23	445
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	32	29	24	32	29	34	8	188
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	21	21	16	19	26	21	4	128
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	2	8
	16	12	11	18	17	14	6	94
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	7
	12	10	13	11	10	4	2	62
小 計	7	7	6	6	5	7	12	50
	142	142	134	154	146	156	43	917
唐瀬原中学校	3	2	3				2	10
	86	65	87				7	245
国光原中学校	2	2	2				2	8
	56	66	64				8	194
小 計	5	4	5				4	18
	142	131	151				15	439
合 計	12	11	11	6	5	7	16	68
	284	273	285	154	146	156	58	1356

平成31年度から平成33年度までの児童・生徒及び学級数増減見込み

平成31年度

小学校名	児童数及び学級数見込								中学校名	生徒数及び学級数見込				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別	計		1学年	2学年	3学年	特別	計
川南小学校	3	3	2	2	2	2	3	17	唐瀬原中学校	3	3	2	3	11
	65	61	70	70	74	64	18	422		90	86	65	11	252
通山小学校	2	2	1	1	1	1	2	10	国光原中学校	2	2	2	2	8
	33	32	29	24	32	29	6	185		66	56	66	10	198
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	合 計	5	5	4	5	19
	21	21	21	16	19	26	3	127		156	142	131	21	450
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	1	7						
	17	16	12	11	18	17	4	95						
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	12	12	10	13	11	10	2	70						
合 計	8	8	6	6	6	6	10	50						
	148	142	142	134	154	146	33	899						

平成32年度

小学校名	児童数及び学級数見込								中学校名	生徒数及び学級数見込				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別	計		1学年	2学年	3学年	特別	計
川南小学校	3	3	2	2	2	2	3	17	唐瀬原中学校	3	3	3	3	12
	75	65	61	70	70	74	14	429		94	90	86	12	282
通山小学校	1	2	1	1	1	1	2	9	国光原中学校	2	2	2	3	9
	22	33	32	29	24	32	3	175		52	66	56	14	188
東小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	合 計	5	5	5	6	21
	13	21	21	21	16	19	3	114		146	156	142	26	470
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	1	7						
	14	17	16	12	11	18	2	90						
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	16	12	12	10	13	11	2	76						
合 計	7	8	6	6	6	6	10	49						
	140	148	142	142	134	154	24	884						

平成33年度

小学校名	児童数及び学級数見込								中学校名	生徒数及び学級数見込				
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別	計		1学年	2学年	3学年	特別	計
川南小学校	2	3	2	2	2	2	3	16	唐瀬原中学校	3	3	3	3	12
	60	75	65	61	70	70	11	412		94	94	90	15	293
通山小学校	1	1	1	1	1	1	2	8	国光原中学校	2	2	2	2	8
	24	22	33	32	29	24	2	166		60	52	66	12	190
東小学校	1	1	1	1	1	1	1	7	合 計	5	5	5	5	20
	17	13	21	21	21	16	1	110		154	146	156	27	483
多賀小学校	1	1	1	1	1	1	0	6						
	11	14	17	16	12	11	0	81						
山本小学校	1	1	1	1	1	1	2	8						
	13	16	12	12	10	13	2	78						
合 計	6	7	6	6	6	6	8	45						
	125	140	148	142	142	134	16	847						

平成30年度学校給食計画

1 学校給食共同調理場の役割について

児童生徒に安全・安心な給食を安定的に提供するため、学校給食共同調理場では、食の安全性に対して常に高い危機意識を持ち、各マニュアルに基づいた衛生管理の徹底を第一に管理運営をする。また、地場産物を活用した栄養バランスの取れた給食提供に努め、児童生徒の健やかな心身を育むとともに、食物アレルギーに対応した給食提供を進める。

さらに、栄養教諭・学校栄養職員の専門性をいかし、各学校と連携した食に関する指導を進め、望ましい食生活の実現を図る。

2 学校給食費

	1食あたりの単価	年間実施試算日数	月額食材費等分	月額光熱水費分	月額学校給食費	年額学校給食費総額
小学校	225円	194日	3,980円	20円	4,000円	44,000円
中学校	265円	190日	4,580円	20円	4,600円	50,600円

*年額学校給食費は、11月分

3 学校給食費会計予算

単位：円

歳 入		歳 出	
1 食費納入金	70,239,000	1 給食費	70,237,000
2 町支出金	2,200,000	光熱水費	335,000
3 財産収入	1,000	賄材料費	69,902,000
4 繰入金	1,000	2 川南町学校給食地産地消促進事業	2,230,000
5 繰越金	1,000	賄材料費	2,230,000
6 諸収入	26,000	3 積立金	1,000
計	72,468,000	計	72,468,000

4 職員配置

- ・ 教育課長 町職員 1人
- ・ 所 長 町職員 1人
- ・ 栄養教諭 県職員 1人
- ・ 学校栄養職員 県職員 1人
- ・ 事務職員 パート職員 1人
- ・ 調理及び配送業務 委 託 株式会社文化コーポレーション
開始 平成28年8月 1日
終了 平成31年7月31日

川南町教育支援教室(フロンティアルーム)



1 目的

学校に登校できないお子さんや保護者の方に対して、教育相談や教育支援等を行います。

2 基本方針

- (1)教育相談や学習指導等、一人一人に応じた適切な支援を行うことにより、学校生活への復帰を目指します。
- (2)個別指導と集団における指導を行い、学校生活・社会生活に必要なマナーを体得し、自立を促し、社会性を育成していきます。
- (3)学校及び保護者、関係機関と連携を図り、支援に努めるとともに、不登校の解消に関する調査研究を行います。

3 対象

川南町内の小・中学校に在籍し、学校への復帰を図ろうとするお子さん

- (1)学校への登校が困難で、継続的または長期欠席のお子さん
- (2)不安や心身の不調を訴える等、心因的に不安定な状況にあるお子さん
- (3)自宅に引きこもり、保護者の方も不登校として認知しているお子さん
- (4)特に生徒指導上の問題行動(暴力行為や不純異性交遊等)がないお子さん

4 指導員

- ・ フロンティアルーム指導員(1名)



5 指導・相談の概要

- (1)指導内容
 - ア 教育相談による支援
 - イ 体験学習等による自発性の育成
 - ウ 一人一人に応じた登校意欲及び学習意欲の促進
 - エ 学習に関する支援
 - オ 保護者の方への教育相談及び助言
- (2)指導時間
 - ・ 午前9時15分から正午まで
- (3)面接、教育相談の時間
 - ・ 午後1時から午後3時15分まで
- (4)実施曜日
 - 月曜日～金曜日(土日、祝日は除く)

6 開設期間

- ・ 平成30年4月1日～平成31年3月31日
(通室は学校の授業日に準じます。)

7 入室手続き

- ① お子さん、保護者の方と学校との話し合い
- ② フロンティアルーム指導員の面接
- ③ フロンティアルーム指導員から入室許可の連絡後、入室



8 基本的な一日の流れ

時刻	活動内容
9:15	学習タイム1
10:10	
10:30	リフレッシュタイム
11:30	学習タイム2
11:40	清掃
12:00	振り返りの時間
13:00	個別教育相談
15:15	

9 学習内容

- (1)学習タイム
 - ア 自分の学力や進路を考えて学習計画を立て、自学自習に取り組みます。
 - イ 読書をしたり、奉仕活動やボランティア活動などの体験活動を行います。
 - (2)リフレッシュタイム
 - ア 公園内を散歩をしたり、図書館で本の選書を行ったりします。
- ※ 希望により、教育相談を行います。

10 その他

- (1)所属学校と連携を密にして、指導の効果が上がるように努めます。
- (2)関係機関と連携を図っていきます。
- (3)必要に応じて、保護者の集いを実施します。



川南町生涯学習センター
(トレントロンドーム南側建物3階)

[連絡先]

フロンティアルーム(川南町生涯学習センター3階)

事務局

川南町教育委員会教育課
(川南町生涯学習センター2階)
川南町大字平田2386番地3
電話 27-8019
ファックス 27-1028

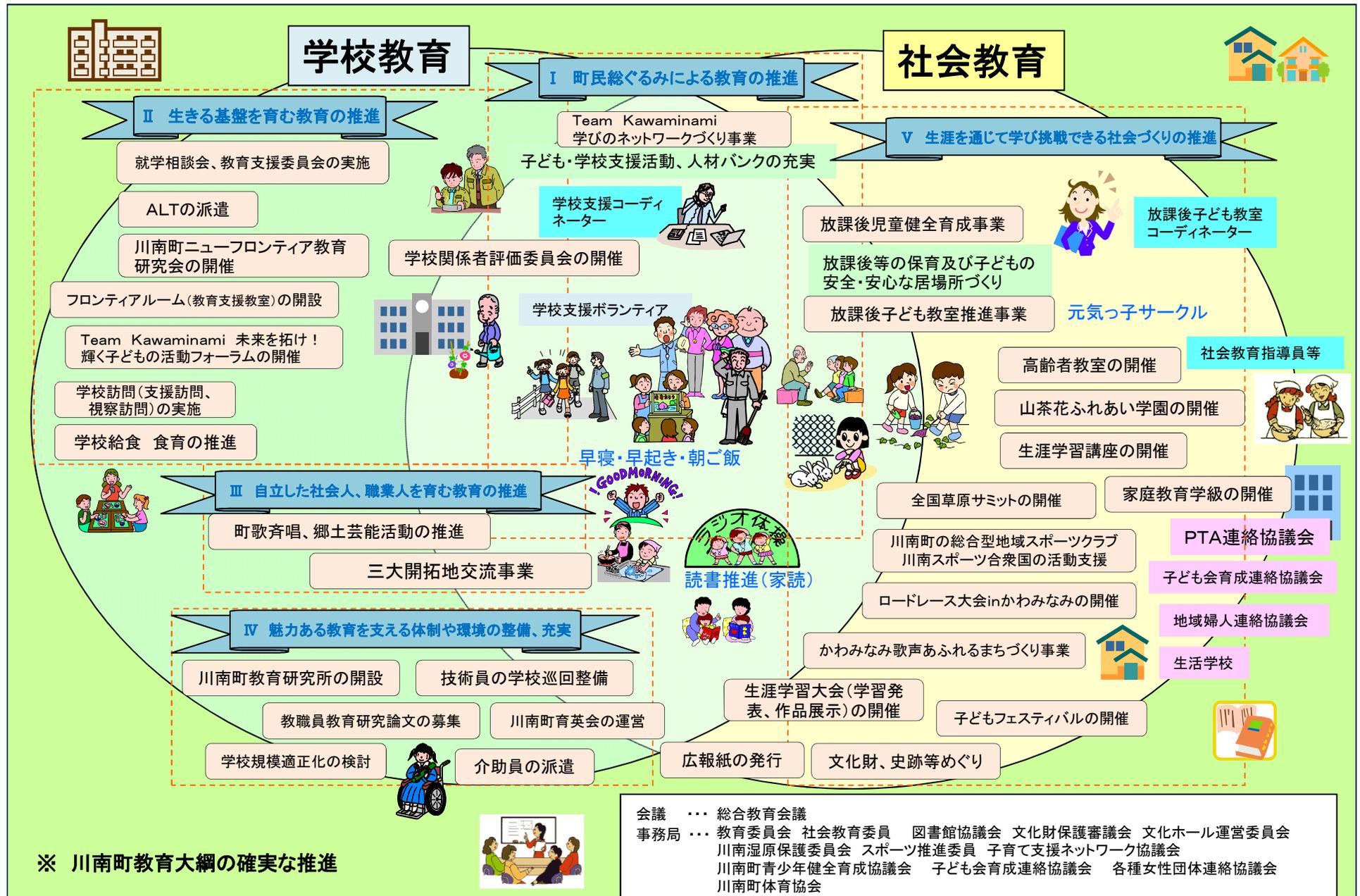


平成30年度ふるさと川南の教育「教育課主な施策等」

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

教育課

Team Kawaminami



平成30年度 川南町小・中学校校長会組織表

役 職 名	所 属 学 校	氏 名	備 考
会 長	川 南 小 学 校	坂 本 幹 夫	川南町校長会の代表で県校長会出会 川南教育委員会との連絡調整 川南町校長会の運営
副 会 長	国 光 原 中 学 校	川 井 田 修	会長補佐 会長代行 会長と総合教育会議出席
書 記	唐 瀬 原 中 学 校	大 山 博 志	川南町校長会研修会案内文発送 毎月1回定期開催予定 研修会の司会は輪番制
会 計	通 山 小 学 校	松 岡 和 幸	県校長会納入会費徴収 川南町校長会懇親会世話 慶弔関係
研 修 部 長	東 小 学 校	牧 野 宏 紀	校長会研修世話役 宮教研連

留 意 事 項

- 1 会長・副会長は、小学校5校，中学校2校の学校数を考慮して決定する。
- 2 川南町ニューフロンティア世話役は、校長会で決定する。
- 3 宮崎県校長会納入会費は、毎月会計校長が徴収する。校長会懇親会の企画運営等を行う。
- 4 平成30年度の東児湯校長会の割当役職
 - ・教研連児湯支部会長 (牧 野 宏 紀 ※東小)
 - ・木犀会 (大 山 博 志 ※唐瀬原中)
 - ・宣言文起草委員 (坂 本 幹 夫 ※川南小)

平成30年度 川南町小・中学校教頭会組織表

会 長	栗野慶一郎 (多賀小)	研 修 部 長	荻原 健弘 (川南小) 岩倉 徳生 (国光原中)
副 会 長	横尾 英明 (通山小)	町 P T A 連絡協議会	栗野慶一郎 (多賀小)
副 会 長	横山 博章 (唐瀬原中)	東 児 湯 広 報	横山 博章 (唐瀬原中)
会 計	中川 浩伸 (東 小) 須本 康仁 (山本小)	郡 P T A 連絡協議会	都農町 (郡 P T A 会長)

平成30年度 川南町 校長会各種委員会組織

委員会名等	氏名	学校	備考
校長会・会長	坂本 幹夫	川南小学校	
校長会・副会長	川井田 修	国光原中学校	
校長会・書記	大山 博志	唐瀬原中学校	町校長会開催文書発送（各月）
校長会・会計	松岡 和幸	通山小学校	県校長会，町校長会会費納入等
研修部長	牧野 宏紀	東小学校	校長会研修担当・宮教研連
川南町教育支援委員会委員長	小野 雅照	山本小学校	NF特別支援教育部会長
川南町社会教育委員	甲斐 伸明	多賀小学校	
川南町PTA連絡協議会	輪 甲斐 伸明	多賀小学校	輪番 川南小→通山小→東小→多賀小→山本小→唐中→国中→
川南町教頭会	川井田 修	国光原中学校	副会長職を充てる
青少年健全育成協議会	小 坂本 幹夫	川南小学校	年2回の会議が開催される。
	中 大山 博志	唐瀬原中学校	
人権・同和教育	松岡 和幸	通山小学校	西都・児湯地区人権・同和教育研究大会実行委員
川南町総合教育会議	小 坂本 幹夫	川南小学校	会長・副会長が会議に出席する。
	中 川井田 修	国光原中学校	
川南町男女共同参画審議会委員	坂本 幹夫	川南小学校	川南小学校を充てる。
川南町給食指導研究会会長	坂本 幹夫	川南小学校	共同調理場の関係で、川南小固定
川南地区共同実施推進会議会長	坂本 幹夫	川南小学校	室長の所属する校長を充てる。
川南町こども・子育て審議会	坂本 幹夫	川南小学校	会長職を充てる。
川南町要保護児童対策協議会	坂本 幹夫	川南小学校	会長職を充てる。
川南町スポーツ合衆国	坂本 幹夫	川南小学校	オブザーバーとして参加する。
ロードレース大会inかわみなみ実行委員	大山 博志	唐瀬原中学校	町校長会を代表して参加する。
学校関係者評価委員会 担当校	唐中 坂本 幹夫	川南小学校	輪番制を基本とするが、諸般の事情により、その都度検討する。
	國中 松岡 和幸	通山小学校	

平成30年度 ニューフロンティア教育研究会担当

会長	大山 博志	唐瀬原中学校	顧問	木村 誠	町教育委員会教育長
副会長	坂本 幹夫	校長会会長（川南小）	※NF副会長には町会長を充てる。 ※各主任会等の理事長には原則として、講師を充てないこととする。		
総務企画委員会	大山 博志	唐瀬原中学校	教務主任会	牧野 宏紀	東小学校
唐中校区研究会	小野 雅照	山本小学校	音楽主任会	小野 雅照	山本小学校
國中校区研究会	甲斐 伸明	多賀小学校	図書主任会	甲斐 伸明	多賀小学校
知育部会	甲斐 伸明	多賀小学校	養護教諭部会	坂本 幹夫	川南小学校
徳育部会	川井田 修	国光原中学校	特別支援教育部会	小野 雅照	山本小学校
体育部会	松岡 和幸	通山小学校			

東児湯小・中学校役員関係（川南町担当分）

【教研連】	西都・児湯支会担当（西都）児湯支部担当（川南：東小）
【木犀会】	川南町（大山 博志：唐瀬原中学校）
【宣言文起草委員】	川南町（坂本 幹夫：川南小学校）

平成30年度学校医・学校歯科医及び薬剤師

学 校 名	内科医師	歯科医師	眼科医師	薬剤師
川南小学校	喜多保一郎	濱本 伸治	蟻塚 高生	森岡 栄一
通山小学校	糸井 仁			長船 克彦
東小学校				江上 郁代
多賀小学校	喜多保一郎			長船 克彦
山本小学校				森岡 栄一
唐瀬原中学校	糸井 仁	三浦 誠志	横山 裕美	
国光原中学校			長船 克彦	

喜多保一郎 電話 27-1711 川南町大字平田 2380
 糸井 仁 電話 27-0032 川南町大字平田 1888
 濱本 伸治 電話 27-4860 川南町大字平田 2372-30
 三浦 誠志 電話 27-6473 川南町大字川南 13593-1 (まこと歯科)
 蟻塚 高生 電話 23-2316 高鍋町大字北高鍋 785
 森岡 栄一 電話 27-0822 川南町大字平田 1402-76 (オレンジ調剤薬局)
 長船 克彦 電話 27-0170 川南町大字平田 2380-9 (トロン調剤薬局)
 江上 郁代 電話 21-3880 川南町大字川南 13681-5 (川南調剤薬局)
 横山 裕美 電話 21-3880 川南町大字川南 13681-5 (川南調剤薬局)

※ カウンセラー

高野美智子 ☎ 42-3711 西都市御船町 1-78 (鶴田病院)
 (国中 月2回 FAX 42-1148)
 中村 千穂
 (唐中 月2回)

平成30年度 教育課事務分掌表

課長 大塚 祥一

事務内容	主務者	副主務者
1 学校の組織及び編制に関すること。 2 学校の教育課程及び学習指導に関すること。 3 教育行政に関する苦情及び相談に関すること。 4 県と学校との連絡調整に関すること。 5 学校以外の教育機関の組織に関すること。	教育対策監 肝付 正籍	
1 条例、規則その他例規に関すること。 2 教育委員会の会議に関すること。 3 教育委員会関係の叙位、叙勲及び褒章に関すること。 4 教育委員会の評価に関すること。 5 教育委員会と各課等との連絡調整に関すること。 6 他市町村の教育委員会との連絡調整に関すること。 7 文化ホール・図書館の指定管理に関すること。 8 職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。 9 教職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。	課長補佐 渡部 好文	課長補佐 稲田 隆志

学校教育係

1 就学相談に関すること。 2 教育支援委員会に関すること。 3 学校関係者評価委員会に関すること。 4 学校訪問に関すること。 5 学校事務共同実施に関すること。 6 学校行事の報告に関すること。	係長 林 義光	主事 新藤 莉奈
1 通学区域に関すること。 2 区域外就学に関すること。 3 学校関係の統計及び調査に関すること。 4 児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 5 就学援助に関すること。 6 児童生徒及び教職員の健康管理に関すること。 7 教科書その他教材に関すること。 8 育英会事業に関すること。	主事 新藤 莉奈	係長 林 義光

教育施設係

1 調理場を除く教育施設に係る工事又は委託の入札及び契約に関すること。 2 調理場を除く教育財産の取得又は処分に関すること。 3 教育財産台帳に関すること。	係長 佐藤 和俊	主事 黒木 涼平
1 調理場を除く教育財産他所管施設の維持管理に関すること。 2 調理場を除く教育施設他所管施設の利用に関すること。	主事 黒木 涼平	係長 佐藤 和俊
1 学校環境整備に関すること。 2 その他教育委員会所管の施設及び教育委員会に補助執行された施設の環境整備に関すること。	専門技術員 久保田敏和 田原 憲浩	係長 佐藤 和俊 主事 黒木 涼平

学校給食共同調理場

事務内容	主務者	副主務者
1 学校給食に関すること。 2 学校給食共同調理場の施設設備の管理に関すること。 3 学校給食共同調理場全般の運営に関すること。 4 学校給食共同調理場運営協議会に関すること。 5 学校給食会に関すること。 6 その他学校給食事務に関すること。	所長 石井 美貴	栄養教諭
1 学校給食の献立作成及び栄養管理に関すること。 2 学校給食の調理に関すること。 3 学校給食における食に関する指導助言及び啓発に関すること。	栄養教諭	所長 石井 美貴

生涯学習係

1 社会教育委員に関すること。 2 社会教育団体に関すること。 3 成人教育に関すること。 4 高齢者教育に関すること。 5 その他社会教育に関すること。	補佐兼係長 稲田 隆志	主事 楠本 さき 主事 佐伯 海斗
1 放課後子ども教室に関すること。 2 放課後児童健全育成事業に関すること。	主事 楠本 さき	補佐兼係長 稲田 隆志 主事 佐伯 海斗
1 青少年教育に関すること。 2 各種講座の開設及び学習機会の提供並びに講演会及び展示会の開催に関すること。 3 三大開拓地交流事業に関すること。 4 学校支援地域本部事業（人材バンク）に関すること。	主事 佐伯 海斗	補佐兼係長 稲田 隆志 主事 楠本 さき

文化スポーツ係

1 スポーツの普及促進に関すること。 2 文化財保護審議会に関すること。 3 文化財の活用並びに保護及び維持管理に関すること。	係長 中村 正樹	主任技師 徳田 啓太 主任主事 黒木裕一郎
1 文化振興計画に関すること。 2 文化団体の育成指導に関すること。 3 読書普及推進活動に関すること。 4 文化財の調査、研究及び発掘に関すること。	主任技師 徳田 啓太	係長 中村 正樹 主任主事 黒木裕一郎
1 スポーツ施設の利用促進に関すること。 2 スポーツ少年団に関すること。 3 総合型地域スポーツクラブに関すること。 4 スポーツ推進委員に関すること。 5 体育協会に関すること。	主任主事 黒木裕一郎	係長 中村 正樹 主任技師 徳田 啓太

学校経営方針概要及び職員配置



川南小学校



通山小学校



東小学校



多賀小学校



山本小学校



唐瀬原中学校



国光原中学校



川南町教育委員会



川南小ならではの教育 ～5つの視点～

教 育 目 標

全カ一心 「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」

目指す児童像 ○ やさしく【徳】 ○ かしこく【知】 ○ たくましく【体】

[学校経営ビジョン]

小学校6年間をとおして「自分に誇りを、友に誇りを、学校・地域に誇りをもつ子供たち」の育成を図り、地域に信頼される学校を創造する。

☆自分に誇りを・・・自分のために学び続ける、自尊感情・自己肯定感の高い子供たち
 ☆友に誇りを・・・友のために学び合う、豊かな心や思いやりのある子供たち
 ☆学校・地域に誇りを・・・学んだことを学校や地域に生かす、実践力のある子供たち

【求められる教職員像】

- 愛情と情熱・使命感…子供に対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち、子供との信頼関係を築くことができること。
- 高い専門性…わかりやすい授業を行い、子供に確かな学力を育成するなど、高い専門性を身に付けていること。
- 幅広い社会性、倫理観、人間性…社会人として幅広い教養と良識や倫理観を身に付けていること。
- マネジメント力…学校組織を運営する高いマネジメント力を発揮できること。
- 学び続ける姿勢…絶えず学び続け、自らの資質能力を高めること。

重点目標	目標達成のための手段
<p>1 生涯学習の基礎を培う、「学びづくり」 縦の接続と横の連携を重視し、児童の個性や能力を引き出し、鍛え、伸ばし、見届ける教育を推進する。</p>	<p>① 学力向上を図るための組織的な取組とICT機器の活用 ・学力アッププロジェクトチーム（学年主任会）を母体に、組織的に学力向上を推進する。 ・電子黒板等ICT機器に関する研修を充実し、積極的に活用する。 ・全国学テ、みやざき学テ、CRTの学力テストを「分布」と「経年変化」の視点から分析し、指導を重点化する。 ・授業研究（教師一人一授業）をとおして、授業の力量を高めるとともにOJTを推進する。</p> <p>② 基礎的・基本的な内容の確実な定着 ・「学びの時間」「学力向上週間」「がってんタイム」の効果的な運用と、漢字・計算コンクール、ステップアップテスト等をとおして基礎基本の定着を図る。 ・単元テスト等80%以上の定着率を図るとともに、県、全国平均を上回る。 ・「家庭学習の手引き」「読み声や家庭学習の提出率」の活用を図り、家庭と連携した学習指導を充実する。</p> <p>③ 読書指導の充実 ・読書への定着を図るため、意図的・計画的な図書館利用及び読書ビンゴや平行読書の導入、地域の方や児童による読み聞かせ等を充実する。 ・作品投稿（NIE、教育に新聞を）を積極的に行い、自尊感情・自己肯定感を高める。 ・ファミリー読書や機関誌ブックトーク等をとおして、家庭と連携した読書指導を推進する。</p>
<p>2 相手を思いやり行動できる、豊かな「心づくり」 基本的な生活習慣の確立と共感による児童理解を基に、心豊かで自ら考え、判断し、行動できる自己指導能力の育成を図る。</p>	<p>① 生徒指導の三機能を生かした教育活動の推進といじめ防止対策 ・毎月実施する教育相談アンケートをとおして、いじめ等の早期発見と解決に努める。 ・毎月実施するえがお推進委員会による児童理解と共通実践を徹底する。※不登校対策</p> <p>② 教児同行「共汗・協働」の推進 ・青少年赤十字の態度目標「気づき」「考え」「実行する」の実践に努める。校内外におけるボランティア活動等への積極的参加を促す。 ・縦割り班編制による無言清掃の徹底と、「PTAあいさつ応援隊」や地域と連携したあいさつ運動を推進する。※教児同行</p> <p>③ 人権に配慮した教育の推進・充実 ・特別の教科道徳の趣旨を踏まえた授業や学級活動の授業の充実に努めるとともに、地域に授業を公開し、人権教育を推進する。 ・人権教育の研修（年3回）や日常的教育活動をとおして教職員の人権感覚を磨く。</p>
<p>3 生涯スポーツの基礎を培う、心身ともに健やかな「体づくり」 運動に親しむ態度や体力の向上を図るとともに、保健指導や食に関する指導（食育）を充実し、健康安全意識の高揚を図る。</p>	<p>① 体育科授業の充実 ・体力テストの分析を基に個や集団に応じた体力向上プランを作成し、運動の日常化を図る。 ・体力向上週間（11月・2月）の計画的な実践（持久走やなわとび運動）をとおして運動に親しむ態度を養う。</p> <p>② 保健指導と食に関する指導の充実 ・健康診断を基に自分の体に関心をもたせ、保護者との連携をとおして健康教育を推進する。 ・食育に関する指導の充実を図るために各教科等で授業を工夫するとともに、「弁当の日」を推進する。</p> <p>③ 安全教育の徹底 ・危機管理マニュアルの見直しと職員研修の内容を充実する。 ・毎月の校内安全点検やPTAと連携した校外安全点検を実施し安全管理に努めるとともに防災教育を充実する。</p>
<p>4 児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばす、共生社会を目指した特別支援教育の充実</p>	<p>① 通常学級及び居住地校との交流や体験活動をより一層推進する。 ② 特別支援教育の研修をとおした「インクルーシブ教育」を推進する。 ③ ことばの教室（川南町地区・都農町地区）をより一層充実する。 ④ 幼保小連携と小中連携の推進、就学前の幼児理解と関係機関との連携を充実する。</p>
<p>5 学校・家庭・地域と一体となった、「信頼される学校づくり」 地域の実態や特性を生かし地域の学校として、子供たちを共に育てるための環境づくりに努める。</p>	<p>① 学校参観、学級懇談会、家庭教育学級等の内容を工夫し、参加率をあげるとともに開かれた学校づくりに努める。 ② 定期的な学校だより、ホームページや安心メール等の情報発信を行うとともに学校関係者評価委員の助言を生かした学校経営の改善に努める。※コミュニティ・スクールの検討 ③ 地域の物的、人的教育資源を有効に活用するとともに、地域と共にある学校をより推進する。（学校の課題を地域と共有する。地域に足を運ぶ。地域に来てもらう。） ④ 地域人材を活用しながら、自分の生き方について考えさせたり、職業観や社会観等を育成したりする授業をとおしてキャリア教育をより一層推進する。（よのなか教室の充実）</p>

[川南町教育基本方針]

ふるさと川南を愛し、未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり

職員名簿

No	職名	氏名	学年等	主任等	校務分掌	
1	校長	坂本幹夫				
2	教頭	荻原健弘		総務	PTA全般	
3	主幹教諭	黒木賢二	理科専科3年	教務主任	教育課程全般 小中連携 地域連携 コーディネーター 生涯学習	教務部
4	教諭	横尾由紀子	1年1組	学年主任	図画工作科主任 掲示教育主任	学習指導部
5	教諭	千頭美子	1年2組	保健主事	生活科主任 幼保小連携	保体安全部
6	教諭	長尾富美子	1年3組	学習指導部長	国語科主任	学習指導部
7	教諭	吉野洋子	2年1組	学年主任	特別活動主任 教育相談	生徒指導部
8	教諭	徳丸晴香	2年2組		金銭教育主任	学習指導部
9	講師	稲子田依子	2年3組		防災教育主任	保体安全部
10	教諭	日高鶴世	3年1組	学年主任	算数科主任 学力向上担当リーダー	研究部
11	教諭	小川由美	3年2組		書写主任	生徒指導部
12	教諭	松尾綾子	4年1組	学年主任	音楽科主任 図書館教育 福祉教育	学習指導部
13	講師	河野琴美	4年2組		社会科主任	研究部
14	教諭	有梁弥生	5年1組	学年主任	家庭科主任	生徒指導部
15	教諭	川崎博道	5年2組		体育科主任	保体安全部
16	教諭	松山紅	6年1組	学年主任	外国語活動主任 国際理解教育	学習指導部
17	教諭	山本和則	6年2組	生徒指導主事	総合的な学習主任 キャリア教育	生徒指導部
18	教諭	梁行真人	6年3組	研究主任	道徳主任 道徳教育推進教師	生徒指導部
19	教諭	岩元誠一郎	ひまわり	特別支援教育コーディネーター	情報教育主任(ホームページ)	保体安全部
20	教諭	今井典子 (藤本昌子)	たんぼぼ1組		校外生活指導	生徒指導部
21	講師	寺尾佳恵	たんぼぼ2組		安全教育主任	生徒指導部
22	講師	岩崎三恵	たんぼぼ3組		環境教育主任	生徒指導部
23	教諭	須賀田和子	ことばの教室		人権教育主任	教務部
24	再任用	西村和豊	理科専科4～6年		理科主任	生徒指導部
25	養護教諭	菅原環	保健室経営		健康・保健・衛生・統計教育	保体安全部
26	栄養教諭	田中佳子	共同調理場在勤		給食主任 給食・食育教育	保体安全部
27	事務主査	二宮可奈子	学校事務	事務主任	事務部総括 安全点検	事務部
28	講師	郡美智子	算数少人数		5・6年算数指導 web活用推進	6学年所属
29	講師	中川由美子	音楽専科3～6年		主幹教諭マネジメント	4学年所属
30	講師	山内大輝	初任研後補充		※東小学校と兼務	2学年所属
31	技師	都原奈穂	共同調理場在勤		給食・食育指導 学校栄養職員	保体安全部
32	主事	本田知香	学校事務		事務全般	事務部
33	介助員	黒木富美子			ひまわり学級及び通常学級支援	3学年所属
34	介助員	米田洋子			たんぼぼ1学級及び通常学級支援	2学年所属
35	介助員	中武直美			たんぼぼ2学級及び通常学級支援	3学年所属
36	介助員	内山田隆一			たんぼぼ3学級及び通常学級支援	5学年所属
37	町事務	大矢根裕子			給食費 町費 体育館借用等事務	事務部
38	P事務	高岡眞貴子			PTA関係庶務全般 図書館業務補助	事務部

平成30年度 通山小学校の教育

平成30年度 ふるさと川南の教育
 ~ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり~

学校の教育目標		
◎ 心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童を育成する		
めざす児童像 ○ 自ら学び、深く考える子 ○ 思いやりがあり、礼儀正しい子 ○ 体をきたえ、元気な子	めざす学校像 ○ 知性を磨き、伸ばす学校(力いっぱい) ○ 明るく活気に満ちた学校(元気いっぱい) ○ 思いやりと笑顔のあふれる学校(やさしいいっぱい)	めざす教師像 ○ 自ら学び、創意工夫して指導の充実を図る教師 ○ 子どもに寄り添い、一人一人を伸ばす教師 ○ 家庭や地域と連携を図り、進んで実践する教師

学校経営ビジョン
 ふるさと川南を愛し、心身のたくましさを兼ね備えた児童を育成するため、「かかわり」と「見届け」を大切にし、当たり前前(まへ)のことを当たり前前(まへ)にできる教育を実践する。

宮崎県教育基本方針

確かな学力 (頭をきたえる)	豊かな心 (心をきたえる)	健やかな体 (体をきたえる)
◎ 基礎学力の定着 ○ 授業づくりのための4つのチェックポイントを基にした授業改善 ○ 個の力を高める話し合い活動の実施(問う・考える・描く力の育成) ○ ICT機器を活用した効果的な授業づくり ○ 確かな「見届け」の実施 ・ 「学びの時間」「たしかめの時間」の活用 ・ 家庭と連携した家庭学習の強化(「家庭学習の手引き」活用の徹底等) ○ 教職員の研修の充実 ・ 職員間〇J Tの推進(見合う・教え合う・磨き合う) ・ 校内研究を生かした相互参観の実施	◎ 自他を大切にする心と態度の育成 ○ 心のこもったあいさつの実践 ・ 日本一流を目指した取組の工夫(あいさつ・返事・笑顔) ・ 家庭・地域と連携した取組の工夫 ○ よりよい人間関係づくりと主体的な活動の展開(特別活動の取組の継続) ○ 人権意識を高める指導の実施 ・ 人権週間の取組 ・ 日常指導の工夫 ○ 特別支援教育の理解と推進 ・ 家庭への理解の啓発 ・ 特別支援学級との積極的交流	◎ 基礎体力の向上と望ましい生活習慣の確立 ○ 運動の習慣化 ・ 朝の「さわやか運動」の継続実践 ・ 外遊びの励行 ○ 体育学習における活動の工夫 ・ 体力テスト結果分析を生かした活動の工夫 ・ 運動施設の効果的活用 ○ 望ましい生活習慣の定着化 ・ 体力向上プランに基づく計画的実践 ・ 親子の健康意識の向上(「健康家族へ親子でチャレンジ」の取組を生かして) ・ 立腰指導の徹底

第二次宮崎県教育振興基本計画

開かれた学校づくり

◎ 学校と家庭・地域が一体となって取り組む教育の推進

- 地域の教育資源の有効活用
 - ・ 地域人材・素材を活用した学習の展開、新たな人材・素材の発掘と整理
 - ・ 学校支援コーディネーターとの連携強化
 - ・ 自治公民館と連携した活動の推進
- キャリア教育を意識した教育活動の実践
 - ・ 地元企業等と連携した授業の開発・実践、県立農業大学校との連携の継続・推進
 - ・ よのなか教室の実施
- 積極的な情報発信・情報交換
 - ・ ホームページの積極的更新、学校だよりの定期的発行
 - ・ 学校と民生委員児童委員との連絡会の活用
 - ・ 学校関係者評価を活用した学校運営の改善

安心して**通**える学校 気持ち**が通**い合う学校 将来に**通**じる教育

幼・保・小・中連携 関係機関との連携

通山小学校 職員名簿

	職 名	氏 名	担任等	主任・校務分掌等
1	校 長	松岡 和幸		
2	教 頭	横尾 英明		総務、衛生推進者
3	教 諭	堤 誉子	理科専科3～6年 音楽専科5～6年	教務主任、地域連携コーディネーター、環境教育担当、 理科主任、道徳教育推進教師、道徳主任、教育課程推進部
4	教 諭	廣田 桂子	1年1組	生徒指導主事、生活科主任、 心の教育推進部
5	非常勤講師	内田 律夫	1年1組副担任	
6	教 諭	島岡 則子	2年1組	図書主任、音楽主任、学力向上推進部
7	教 諭	橋本 和子	3年1組	人権教育推進担当、社会科主任、 特別活動主任、心の教育推進部
8	教 諭	壹岐 乃理子	4年1組	保健主事、国語主任、書写主任、 健康づくり推進部
9	教 諭	河野 真一郎	5年1組	研究主任、学力向上推進担当リーダー、 外国語活動主任、学力向上推進部
10	教 諭	三角 勝広	6年1組	体育主任、家庭科主任、健康づくり推進部
11	教 諭	水俣 輝男	ひまわり学級(知的)	特別支援教育コーディネーター、 情報教育主任、心の教育推進部
12	講 師	茂又 香織	たんぼぼ学級(自情)	図画工作主任、総合的な学習の時間主任、 健康づくり推進部
13	講 師	野添 大	算数少人数	「きめ細かな指導」推進教員、算数主任、 学力向上推進部
14	養護教諭	佐伯 舞	保健室	給食主任、健康づくり推進部
15	事務主査	榎木 幸美	事務室	事務主任
16	町事務	橋口 ひろみ	事務室	事務、地域連携補佐
17	介助員	黒木 千織		特別支援学級支援等
18	介助員	竹下 律子		特別支援学級支援等
19	介助員	税田 千穂		特別支援学級支援等
20	非常勤職員	西村 美菜	養護教諭が初任者研修時の後補充	

本校の教育目標

すぐれた知性と 豊かな心を持ち 心身ともにたくましく実践力のある児童の育成

目指す学校像

- 知性を磨き伸ばす学校
- 礼を正し規律ある学校
- 明るく落ち着いた学校

目指す児童像

- 進んで学びよく考える子
- 思いやりのある子
- 明るく健康でやりぬく子

目指す教師像

- 子どもの能力を伸ばす教師
- 授業の改善に努める教師
- 努力を惜しまない教師

学校経営ビジョン

職員が一丸となり、児童の伸びようとする思いに応え、一人一人の成長に徹底的にこだわる「見届けの教育」と必要だと思ふことには臆せずに取り組む「進取の教育」を展開していくなかで、「知」「徳」「体」の調和の取れた児童の育成を図るとともに、学校と家庭・地域との連携を通して「開かれた学校」づくりに努める。

知

- ・基礎・基本の確かな定着
- ・望ましい学習習慣の育成

① 学ぶ意欲の向上

OJTの機能を生かした授業力向上に継続的に取り組むとともに、特別支援教育への組織的な取組による指導の充実を図り、学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命に勉強している」と答える児童の割合90%を目指す。

(H29:88.7%・H28:89.0%)

② 基礎学力の向上

個別指導の充実に努め、基礎・基本の確かな定着を図り、CRTテストで全児童一人一人の向上と全学年全国平均以上を目指す。

(H29:国語1/6学年、算数5/6学年達成)

(H28:国語3/6学年、算数4/6学年達成)

③ 読書の習慣化

図書室運営の工夫改善を中心に読書指導の充実を図り、年間の図書貸出総数10000冊を目指す。

(H29:7716冊・H28:7793冊)

徳

- ・思いやりのある心の育成
- ・基本的な生活習慣の定着

① 思いやりのある子の育成

道徳科の授業の充実を図ることを中心に心の教育の充実を図り、見逃さない・見捨てない・あきらめない指導に徹し、素直で思いやりのある心と実践的な態度の育成に努める。

② あいさつの習慣の定着

児童の主體的な取組を促す指導や保護者・地域と連携したあいさつ運動の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「進んであいさつする」と答える児童の割合85%を目指す。

(H29:83.5%・H28:80%)

③ 楽しい学校生活の保障

いじめはしない、許さないという心を育む指導の充実を図り、学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合90%を目指す。

(H29:84.2%・H28:85.8%)

体

- ・基礎体力の向上
- ・健康増進と食育の推進

① 基礎体力の向上

一人一人の体力の状況の把握に努め、新体力テストにおいて児童一人一人の苦手項目(県平均値-5%以下)の克服を目指し、体育科学習の充実と運動の日常化を図る。

② よい生活リズムの習慣化

午前5時間授業の実施に伴い保護者との連携をより強化し、学校生活アンケートにおいて「早寝早起き朝ごはんをしている」と答える児童の割合85%を目指す。

(H29:83.5%・H28:80.3%)

③ 健康増進の意識の高揚

健康教育・食育に家庭・関係機関との連携を深めながら計画的に取り組む、健康増進の意識を高め、学校生活アンケートにおいて「健康で安全な生活をしている」と答える児童の割合100%及びう歯治療率80%以上を目指す。

(健康H29:96.2%)

(う歯H29:81.4%・H28:70%)

家庭・地域社会との連携

- 学校参観日や行事への参加を地域住民に呼びかけ、学校ホームページや学校便りによる積極的な教育活動の情報発信により、開かれた学校を目指します。
- 家庭・地域社会とが一体となった計画的な教育活動の充実を目指し、家庭や金鈴学園との密な連携を図ると共に地域人材をより一層活用した積極的な交流を推進します。

東小学校 職員名簿

No	職	氏名	学年等	主任等		校務分掌部
1	校長	牧野 宏紀				
2	教頭	中川 浩伸		総務		
3	教諭	鬼塚 淳	理科専科 図工専科	教務主任	地域連携コーディネーター 初任者指導 理科主任 社会科主任	学力向上 推進部
4	教諭	永友亜希恵	1年	学力向上推進部長	図書主任 国語主任	学力向上 推進部
5	講師	黒木 しおり	2年		児童会活動 クラブ活動 図工主任 音楽主任	心の教育 推進部
6	教諭	島田 静代	3年	人権教育	環境教育 特別活動主任 書写主任	心の教育 推進部
7	教諭	釘村 幸枝	4年		情報教育 放送教育 算数主任	学力向上 推進部
8	教諭	楠本 将夫	5年	研究主任	キャリア教育 外国語教育主任 総合的な学習の時間主任	健康づくり 推進部
9	教諭	金丸 里美	6年	生徒指導主事 心の教育推進部長	道徳教育推進教師 家庭科主任	心の教育 推進部
10	講師	山下 義人	あおぞら 知的障がい 特別支援学級		安全教育 生活科主任	健康づくり 推進部
11	教諭	関 智美	おすず 自閉症・情緒障がい 特別支援学級	特別支援教育コー ディネーター	体育主任	心の教育 推進部
12	非常勤 講師	山内 大輝	初任者研修補充		※ 川南小との兼務	
13	養護教諭	柘山 真由	保健室経営	保健主事 健康づくり推進部長	給食主任	健康づくり 推進部
14	主事	松野 レナ	学校事務	管理部長	事務全般	管理部
15	町事務	田中 聖枝	学校事務		給食事務 町費 体育館等借用 PTA会計補助	管理部
16	町図書 事務	綾部 晴華	図書室運営		図書館教育 ※ 小学校5校を兼務	学力向上 推進部

平成30年度 川南町立多賀小学校 学校経営計画

学校の教育目標

博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成

- ・ 法令、法規等
- ・ 第二次宮崎県教育振興計画(改訂版)
- ・ 宮崎県教育基本方針
- ・ 川南町教育大綱(町教育振興基本計画)
- ・ 川南町教育基本方針

めざす学校像

- あいさついっぱい为学校
- 落ち着きのある学校
- 家庭や地域から信頼される学校

- ・ 時代や社会の要請
- ・ 児童の実態
- ・ 保護者や地域の願い

めざす児童像

やさしい子	かしこい子	たくましい子
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分から進んであいさつができる子ども ○ 思いやりのある言葉遣いができる子ども ○ 身の回りの整理整頓や片付けのできる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学び方を身に付け、自分ら進んで学習する子ども ○ 自分の考えをもち、積極的に発言したり行動したりできる子ども ○ 復習や予習など家庭学習に自分から進んで取り組む子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の生命を大切にできる子ども ○ 運動に親しみ基礎体力を身に付けることができる子ども ○ 規則正しい生活リズムで過ごすことができる子ども

学校の基本方針

努力事項 一人一人の児童をよく見つけ、よさや可能性を引き出し、最大限に伸ばす。

- 児童一人一人を見つめ、児童を中心にすえた経営に努める。
- 教育は蓄積であり、毎日毎時の教育活動に全力をつくす。
- 職員一人一人の特性を大切に、全員が参画する経営に努める。
- 地域や保護者との連携を図り、信頼と期待に応える経営に努める。
- 地域に根ざした特色ある学校づくりを推進する。

学校経営ビジョン

「日々の小さな積み重ねで 大きな成果を！」をスローガンに、多賀小ならではの教育実践を通して、知、徳、体のバランスのとれた児童を育成し、信頼される学校づくりを目指す。

実現のための努力・実践事項

知育

- 1 教材研究に基づいた授業実践により分かる授業を追究する。
- 2 各教科「習熟の時間」を確保し学習内容の定着を図る。
- 3 各教科等と関連させたキャリア教育の推進により「基礎的・汎用的能力」の育成を図る。
- 4 CRTや全国学力学習状況調査みやざき小中学学習状況調査の分析を行い、重点指導内容の明確化と指導後の評価を行う。
- 5 「かしこさ週間」を設定して話を聞く態度等の育成を図り、学習習慣を身に付けさせる。
- 6 町の「家庭学習のすすめ」と本校の「家庭学習の手引き」との関連を図りながら、効果の上がる家庭学習を共通実践する。

徳育

- 1 自己存在感や共感的な人間関係の醸成を図り、明るい雰囲気や学級づくりに力を注ぐ。
- 2 人権教育の充実を図り自己理解を深め、自尊心を育てる。
- 3 アンケートにより児童の悩みや心配事の把握に努め、相談活動を確実にを行うことで、安心・安全な学校づくりをする。
- 4 「やさしさ週間」を設定し基本的な生活習慣の徹底を図る。(あいさつ・後始末・廊下歩行)
- 5 スマートホンやゲームに関するトラブル対応の研修をとおして正しい使い方を理解させる。
- 6 道徳科や学級活動の授業をとおして日常の実践を振り返り、豊かな心の育成に努める。

体育

- 1 集団登下校時の安全指導や交通安全教室での指導、廊下歩行指導等をとおして、交通安全の意識を高める。
- 2 避難訓練を計画的に進め、防災教育の充実に努める。
- 3 「体力向上プラン」の計画的実践とその評価を実施し、計画の改善を図る。
- 4 体育や朝の体力アップの時間の充実及び外遊びの推進により基礎体力の向上を目指す。
- 5 身だしなみチェック週間の自己評価をとおして、規則正しい生活リズムを身に付けさせる。
- 6 健康診断結果の事後指導や弁当の日、学級活動等の活動をとおして自己管理能力を高める。

- 1 特別支援教育の指導体制をさらに工夫し、配慮を要する児童に対してよりよい教育環境の場を提供する。
- 2 通山小学校や国光原中学校と連携し、小中一貫教育の推進に努めると共に保育園との連携を強化する。
- 3 授業実践に直結した職員研修の実施やコンプライアンス研修の充実により、教職員の資質向上を図る。
- 4 教材研究の時間確保や集中しての業務遂行と合理化、施設時間の厳守などにより働き方改革を推進する。

家庭・地域との連携

- 「家庭学習の手引き」「身だしなみチェック表」「学校保健委員会の取組目標」等により連携する。
◎ 早寝・早起き・朝ごはん ◎ 家庭学習の習慣 ◎ 家読 ◎ 健康教育
- おやじ学級や長寿会、GBAの方など地域の方々の協力をいただきながら、学校と家庭、地域が一体となった多賀小ならではの特色ある教育の推進・充実に努める。
- 学校だよりやホームページの更新、学校評価の結果公表などをとおして、開かれた学校づくりに務める。

平成30年度 学級担任及び校務分掌

川南町立多賀小学校

番	職名	氏名	学年等	校務分掌	省令主任等	教科主任	その他	地区
1	校長	かい のぶあき 甲斐 伸明						
2	教頭	くりの けいいちろう 栗野 慶一郎		総務	コンプライアンス リーダー	5年算数TT	PTA担当	
3	教諭	はらだ みつえ 原田 味津江	1年	やさしさ 推進部	生徒指導主事	生活 特別活動		22
4	講師	やました さよ 山下 紗代	2年	やさしさ 推進部		音楽	環境教育	23
5	教諭	いしい まさと 石井 真人	3年	かしこさ 推進部	部長 研究主任	算数	学力向上(We b) 人権教育 福祉教育 町研究員	24
6	教諭	くろぎ かずえ 黒木 一江	4年	かしこさ 推進部		総合 道徳	視聴覚教育 情報教育	22
7	講師	てらむらら ちよ 寺村 智代	5年	かしこさ 推進部		社会	図書館教育	23
8	教諭	ながとも りつこ 長友 里津子	6年	たくましさ 推進部		体育 外国語活動	国際理解	23
9	教諭	いなだ ちほこ 稲田 千穂子	2組	たくましさ 推進部	保健主事	図画工作		23
10	教諭	たかみ ふみこ 高見 文子	3組	やさしさ 推進部		家庭	幼保小連携 特別支援教育CO	21
11	教諭	こが じゅんいち 古賀 潤一	理科専科	教務部	教務主任	理科	キャリア教育 地域連携CO 小中連携	21
12	養護教諭	くろずみ あやか 黒住 文香		たくましさ 推進部			給食 衛生管理推進者	24
13	事務主査	かわさき しょうこ 川崎 昌子						
14	町介助員	うだつ まり 宇田津 真理						
15	町事務員	おおやね えつこ 大矢根 悦子					月・木曜日勤務 水曜日勤務(偶数月)	
16	教諭	ますだ やよい 益田 やよい					育休中 平成31年4月復帰予定	

宮崎県教育基本方針

ふるさと川南町の教育
 ～ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり～

【本校の教育目標】
心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成
 「やる気 いっぱい」「やさしさ いっぱい」「元気 いっぱい」

- 【目指す学校像】
- 明るく活気あふれる学校
 - 決まりを守り 落ち着きのある学校
 - うるおいのある 美しい学校

- 【目指す児童像】
- 進んで学び よく考え工夫する子
 - 礼儀正しく 思いやりのある子
 - 明るくたくましい子

- 【目指す教師像】
- 使命感と責任感のある教師
 - 一人一人の児童をよく理解し長所を伸ばす教師
 - 研修に励み創意工夫し実践を重んじる教師

児童の笑顔



教師の笑顔



- 学校経営の重点目標
 (笑顔いっぱいの学校・地域)**
- 1 確かな学力の定着 (やる気 いっぱい)
 - 2 豊かな心の育成 (やさしさ いっぱい)
 - 3 健やかな体の育成 (元気 いっぱい)
 - 4 教職員の資質の向上 (自己研鑽)
 - 5 学校、家庭、地域社会の連携 (つながり強化)

保護者の笑顔



地域の笑顔



確かな学力の定着 (やる気 いっぱい)	豊かな心の育成 (やさしさ いっぱい)	健やかな体の育成 (元気 いっぱい)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わかる」「できる」授業の展開 ○ 基礎・基本の定着と活用力の育成 ○ 主体的な学習の推進 ○ ICT活用の推進 ○ 複式指導の充実 ○ 特別支援教育・キャリア教育の充実 ○ 読書活動の推進及び家庭学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「山本小当たり前のこと3か条」の指導を中心とした基本的生活習慣の定着 ○ 道徳教育の充実及び規範意識の向上 ○ 積極的な生徒指導・人権教育の推進 ○ 勤労意欲・奉仕の精神の醸成 ○ みどりの少年団活動の充実(自然愛・郷土愛の育成) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科体育の指導の充実 ○ 健康についての望ましい態度や習慣の育成 ○ 安全に関する危険予知・回避能力の育成 ○ 食に関する指導の充実 ○ 保護者と連携した生活リズムの確立

教職員の資質の向上 (自己研鑽)	学校・家庭・地域との連携 (つながり強化)
<ul style="list-style-type: none"> ○ NF教育研究会の充実 ○ 自主研修・共同研修による指導方法の工夫改善 ○ 教師力向上に向けた職場・研修づくりの推進 ○ 「チーム山本」としての組織的共同指導強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育力向上 ○ 学校評価等を生かした教育の推進 ○ 地域教育力の活用推進 ○ 小中連携や幼保小連携の推進

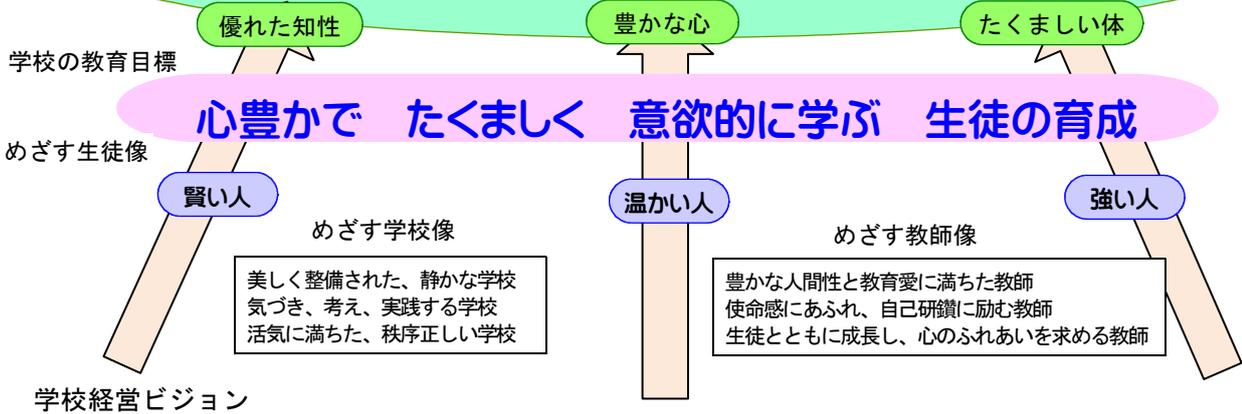
平成30年度 職員名簿

川南町立山本小学校

NO.	職名	氏名	担当学年	主任等	校務分掌
1	校長	小野 雅照		防火管理者	
2	教頭	須本 康仁		コンプライアンスリーダー 衛生推進者	
3	教諭	安在 香珠子	1年1組	研究主任、国語、書写、図書館 教育、保小中連携	学力向上推進部長
4	常勤講師	浅田 麻帆	2年1組	生活科、環境教育、安全教育	健康づくり推進部
5	教諭	篠原 裕人	2年2組	生徒指導主事、道徳、道徳教育 推進教師、人権教育、青少年 赤十字、特別支援教育コー ディネーター	心の教育推進部長
6	常勤講師	吉田 早耶香	2年3組	図工、特別活動	心の教育推進部
7	常勤講師	福田 恭子	3年1組	社会、音楽、掲示教育	学力向上推進部
8	教諭	平塚 ゆき子	4年1組	算数、体育	健康づくり推進部
9	教諭	日下部 英雄	5・6年1組	教務主任、総合的な学習、外 国語活動、国際理解教育、地 域連携、保小中連携、キャリア 教育	教務部
10	教諭	黒木 義恵	理科専科	理科、情報・視聴覚教育、作品 募集、HP担当	学力向上推進部
11	非常勤講師	葉上 里絵	教科指導 (5年)	複式授業解消のための教科指 導	
12	養護教諭	木下 ほなみ		保健主事、防災主任、健康教 育、給食主任	健康づくり推進部長
13	事務主査	宮田 とき子		事務主任	事務部
14	町学校事務	大矢根 悦子		学校事務補助	事務部 多賀小との兼務
15	教諭	磯永 ゆかり		宮崎大学大学院派遣研修	

県の基本方針 未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり

川南町基本方針 ふるさと川南を愛し、未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり



生徒との信頼関係を基盤に「切磋琢磨」し、「チーム唐瀬原中」を合言葉に、地域とともに歩む学校を目指す。

こんな学校にしたい

- ・ 生徒が毎日仲良く楽しく過ごし、明日も行きたくなる学校
- ・ 保護者や地域から信頼を得て、子どもを通わせたい学校
- ・ 教職員が仲間意識を持ち、楽しく働きがいのある学校

【学力の向上】	【豊かな心の育成】	【体力の向上】
<p>1 授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かる授業、できるまで教える授業、学び合いのある授業づくり ・ 授業改善のチェックポイントの確認 ・ ICTを活用した授業 ・ 思考力、表現力の育成 ・ 生徒指導の3機能を生かした授業 <p>2 望ましい学習習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での学習習慣の形成 ・ 学習の手引きの作成と活用 <p>3 個別指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的内容の定着度把握と個別指導の充実 ・ 習熟度別少人数指導の充実 ・ Web学習単元評価システムの活用 ・ 特別支援教育の充実 <p>4 学力向上関連の事項の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定試験の推進 ・ 読書活動の充実 ・ バルアップタイム、進級テストの実施 	<p>1 基本的な生活習慣や規範意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな声であいさつの習慣化 ・ 内面からの自己指導能力を高める ・ 時間やきまりを守る指導の充実 ・ 小中連携によるルールやマナーの定着 ・ 「切磋琢磨」認め合い高め合う生徒育成 <p>2 生徒指導の3機能を生かした指導の充実</p> <p>3 キャリア教育の計画的な推進</p> <p>4 望ましい人間関係づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止基本方針の見直しと周知徹底 ・ いじめを生まない学校風土づくり ・ 人権・同和教育の充実 <p>5 自治的・自発的な活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動、学年生徒会活動、学級活動の充実 <p>6 特別支援教育の充実</p> <p>7 奉仕・体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無言清掃の徹底 ・ ボランティア活動への積極的参加 <p>8 交通安全指導の積極的推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメット、反射たすきの着用徹底 	<p>1 体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上をめざす授業の充実 (体力向上プランの確実な実施) ・ 体育的行事の充実 ・ 部活動の推進 (技能向上、礼儀・マナーアップ) <p>2 生命の尊重と健康・安全教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全教育・防災教育の積極的推進 ・ 健康診断結果による治療改善の推進 (う歯、目等の治療) ・ 薬物乱用防止教室、性教育の実施 <p>3 食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マナーや感謝を育てる給食指導 ・ 家庭と連携した弁当の日の推進 <p>4 基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズムの確立 (規則正しい生活、望ましい食生活) ・ 早寝・早起き・朝ご飯の推進

家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくり (地域と共に歩む学校)

- (1) 学校評価 (学校関係者評価) を生かした学校経営の推進
 - ・ PDCAサイクルの確立。スピード感と柔軟性を持った改善
- (2) 積極的な情報発信と開かれた学校づくりの推進
 - ・ 学校と家庭・地域を繋ぐ『宅級便』の活用。学校HPの随時更新
- (3) 小中連携、中高連携の推進
 - ・ NF教育研究会の活動充実。出前授業や乗り入れ授業の実施
- (4) 地域との連携推進
 - ・ 地域人材の活用。地域で活躍する中学生の育成。
- (5) 職員のコンプライアンス意識向上
 - ・ 毎月チェックリストを実施。職員の意識高揚。職員研修の充実。

平成30年度 川南町立唐瀬原中学校 職員名簿

	職名	氏名	学年及び担任等	教科	校務分掌	
1	校長	大山 博志				
2	教頭	横山 博章			渉外 施設管理	
3	教諭	後藤三紗子	1-1担任	音楽	保健体育部	保健体育部長
4	教諭	西 隆行	1-2担任	数学	教務部	視聴覚情報主任
5	教諭	藤崎 孝敏	1-3担任	英語	学習指導部	学習指導部長
6	教諭	下川奈緒子	希望学級2担任	英語	生徒指導部	特別支援教育コーディネーター
7	教諭	古屋 真一	1年副担	保体	生徒指導部	生徒指導主事
8	教諭	岡田富美子	1年副担 学年主任	国語	学習指導部	図書主任
9	講師	大平 真奈	1年副担	美術	保健体育部	給食主任
10	教諭	佐野 育美	2-1担任	国語	学習指導部	特活主任
11	教諭	宇ノ木龍世	2-2担任	数学	学習指導部	研究主任
12	講師	鍵本 昇	希望学級1担任	理科	生徒指導部	清掃指導担当
13	教諭	清水 延幸	2年副担 学年主任	社会	教務部	社会科主任
14	教諭	井上成二郎	2年副担	技術	教務部	教務主任
15	講師	羽田 泰子	2年副担	英語	保健体育部	少人数指導加配
16	教諭	徳永 晃司	3-1担任	保体	保健体育部	体育主任
17	教諭	榎本 敬一	3-2担任 学年主任	数学	生徒指導部	生活指導
18	教諭	福田 加恵	3-3担任	家庭	教務部	道徳主任
19	教諭	北林 久幸	3年副担	理科	学習指導部	進路指導主事
20	講師	是澤 里佳	3年副担	英語	教務部	英語科主任
21	講師	富田 哲	3年副担	社会	生徒指導部	生徒会
22	養護教諭	玉井 美保	3年所属		保健体育部	保健主事
23	事務主査	平田 利恵			庶務一般	
24	町職員	鴨田 智子			庶務会計	
25	PTA職員	井出久美子			PTA事務	
26	スクール カウンセラー	中村 千穂			教育相談	

(内訳)

校長	教頭	教諭		養護 教諭	事務 主査	計		講師	町職	P職	スクール カウンセラー	総計
		男	女									
1	1	9	5	1	1	18		5	1	1	1	26



〔経営の基調〕

本校は、宮崎県及び「川南町教育大綱」、「平成30年度ふるさと川南の教育」の基本方針に基づき、近隣学校や関係機関等と連携し、地域に根ざし、地域とともに歩む笑顔あふれる中学校の教育活動を行う。

また、川南町の素晴らしい伝統・文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力などのこれからの社会を「人として」生き抜く力や確かな力をもった、社会に貢献する気概ある心豊かでたくましい生徒の育成を目指す。

学校の教育目標

ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい 生徒の育成

〈めざす学校像〉

- ・一人一人が存在感のある学校
- ・学ぶ意欲のあふれる学校
- ・先見性と活力のある学校
- ・地域とともに歩む学校

〈めざす生徒像〉

- ・ふるさとを愛し、貢献することができる生徒
- ・希望や信念をもち、その実現に努力する生徒
- ・心豊かで、しなやかさのあるたくましい生徒
- ・知的好奇心にあふれ、学び続ける生徒

〈めざす教職員像〉

- ・生徒と共に学び続ける教職員
- ・生徒と夢を語り、確かな力を付ける教職員
- ・生徒の心に寄り添い、気づき、動き、見守る教職員
- ・生徒の手本となり、尊敬される教職員

〔自立〕

〔立志〕

〔感謝〕

I 町民総ぐるみによる教育の推進

家庭、地域と連携し、信頼される学校づくり

1 学校、家庭、地域が一体となって取り組む教育の推進

- ・授業や学校行事等における地域人財(材)との積極的な連携
- ・学校間連携の推進
- ・関係機関等との連携
- ・学校関係者評価委員の助言を生かした教育の充実

2 家庭や地域の教育力の向上

- ・PTA活動の充実
- ・魅力ある家庭教育学級の実施
- ・参観日、学級懇談会の充実

3 開かれた学校づくりの推進

- ・積極的な情報(学年学校便り、ホームページ等)発信
- ・オープンスクールの実施
- ・学校図書館の地域開放、受入体制の充実

V 生涯を通じて学び、挑戦できる社会づくりの推進

自ら学び、地域に貢献する生涯学習の基礎づくり

II 生きる基盤を育む教育の推進

学びや豊かな心、健やかな体の基礎づくり

1 確かな学力を育む教育の推進

- ・自主的に学び合い、支え合う授業づくりの確実な実践
- ・学力テスト等を利用した学力向上のための取組充実
- ・「かわみなみの教育力」を活用した指導方法の見直し
- ・読書活動の充実

2 豊かな心を育む教育の推進

- ・自己実現を図る生徒指導の充実(いじめ防止基本方針に基づいた取組の充実)
- ・道徳教育の充実

3 健やかな体を育む教育の推進

- ・保健指導の充実と体力向上プランの推進
- ・弁当の日、食育の推進
- ・部活動の活性化

4 共生社会を目指す特別支援教育の推進

- ・個に応じた特別支援教育の充実

5 人権が尊重される社会を目指す教育の推進

- ・思いやりのある言葉遣いの励行と人権教育の推進

III 自立した社会人、職業人を育む教育の推進

夢や希望の実現を支える環境づくり

1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育の推進

- ・川南の宝を活用したふるさと学習の推進
- ・川南町歌、川南音頭等による町民意識の醸成

2 地域の課題解決に参画する意識や態度を育む教育の推進

- ・ボランティア活動等地域に貢献する活動への参画
- ・小中合同活動の推進
- ・生徒の主体的な活動を促す生徒会活動の充実

3 キャリア教育の推進

- ・社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進計画作成と実践
- ・職場体験学習、奉仕体験活動の充実
- ・地域人財(材)による職業講話の実施

IV 魅力ある教育を支える体制や環境の整備・充実

生徒をとりまく魅力的な人的・物的環境づくり

1 教職員の資質向上

- ・OJTの積極的な推進
- ・指導力向上のための研修の充実
- ・コンプライアンスチェック意識の高揚、

2 学校における安全、安心の確保

- ・自ら命を守る安全教育の推進(ヘルメット、たすき)
- ・安全に配慮した施設・設備の管理
- ・危機管理マニュアルの周知と緊急時の対応整備

3 学校の教育環境の整備、充実

- ・ICT機器の積極的な活用と研修の充実
- ・施設設備等必要事項の町教育課への確実な報告・連絡・相談

〈めざす町民像〉

- ・夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人
- ・ふるさと川南を愛し、地域や社会の発展に参画する人
- ・グローバルな視野をもって活動する人

川南町教育大綱(川南町教育振興基本計画)、平成30年度ふるさと川南の教育

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり



職名	氏名	担当学年	担当教科等	分掌等	部活動等
校長	川井田 修				
教頭	岩倉 徳生		国語	総務	
教諭	下沖 洋徳	2年副担	保体	教務主任	バレーボール
教諭	小並 透	1年A級	社会	進路指導主事	バスケットボール男子
教諭	田崎 泰功	1年B級	理科	第1学年主任	バスケットボール男子
講師	河野 桃子	C級	音楽	図書主任	音楽
教諭	山田 敏博	1年副担	国語	書写主任	空手道
教諭	児玉 径	1年副担	数学	研究主任	音楽
教諭	田中 攝	2年A級	美術	学習部長	美術
教諭	瀬川 和美	2年B級	英語	第2学年主任	ソフトテニス女子
教諭	山本 夏樹	D級	社会	特別支援教育コーディネーター	バスケットボール女子
講師	今藏屋太基	2年副担	数学	生徒会担当	サッカー
教諭	寺田 憲生	3年A級	数学	生徒指導主事	野球
教諭	植野 勝代	3年B級	英語	進学主任 道徳主任	水泳
教諭	北原 輝隆	3年副担	理科	第3学年主任	陸上 駅伝
講師	鎌田 美香	3年副担	保体	部活動担当	ソフトテニス男子
講師	黒木 里恵	3年副担	英語	少人数指導	
養護教諭	長友 直子	養護教諭	保健担当	保健主事・給食主任	美術
事務主査	寺坂 昭洋	学校事務	学校事務	事務部	
図書事務	桑野 幸枝	図書事務	図書事務	学習部	
町職員	内尾 和恵	学校事務	学校事務	事務部	
介助員	上園久美子	C級		介助	
教諭	山崎 彩			育児休暇	
スクールカウンセラー	高野 美智子			教育相談	

職員の構成

	校長	教頭	主幹 教諭	教諭	講師	養護教諭	事務主査	町事務	図書館事 務	介護員	合計
男	1	1	0	8	1	0	1	0	0	0	12
女	0	0	0	4(1)	3	1	0	1	1	1	11(1)
計	1	1	0	12(1)	4	1	1	1	1	1	23(1)

平成30年度 川南町立小・中学校研究主題

	学 校 名	研 究 主 題	研究領域	備 考
1	川南小学校	児童が「分かる！できる！やってみよう！」 と感じる授業への改善 ～ 課題解決に向けたチームでの授業改善 をとおして ～	国語科	
2	通山小学校	「分かる！できる！」と児童が主体的に学習に 取り組む授業づくり ～ 4つのチェックポイントを活用した各 教科の授業改善を通して ～	全教科	
3	東小学校	「分かる喜び」「考える楽しさ」を実感しながら ら学びに向かう東っ子の育成 ～ 課題解決に向けた授業改善の取組を通 して ～	算数科	
4	多賀小学校	読解力を身に付けた児童の育成 ～ 国語科における授業の改善を通して ～	国語科	
5	山本小学校	自ら考え、主体的な態度で学習に取り組む児 童の育成 ～ 算数科を中心に、思考内容の深まりを もたせる学習指導の在り方 ～	算数科	
6	唐瀬原中学校	生徒たちが「分かる！・できる！」と感じる 授業・学習活動の推進 ～ 4つのチェックポイントと学び合いの 実践を通して～	全教科	
7	国光原中学校	生徒一人一人の確かな学力の向上を目指して ～ 定着を図る時間の確保と学業指導の工 夫・改善を通して ～	全教科	

平成30年度 川南町教育研究会の研究活動に関する基本計画書

平成30年4月1日
川南町教育委員会
川南町立小・中学校校長会

1 名称 「川南町ニューフロンティア教育研究会」(NF教育研究会)

2 趣 旨

川南町の教育基本方針には、生まれ育ったまち川南を愛し、「人との絆」を大切にしながら、人としての在り方生き方の基となる豊かな情操や寛容の心、道徳心や公共の精神といった「心の豊かさ」とともに、自らの資質や能力を磨き、夢や希望の実現に向けて挑戦し続ける「しなやかさ」や「たくましさ」をもった人材の育成が謳われており、また、学校教育においては、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育む教育の推進が目標として挙げられている。特に、本町においては、児童生徒の確かな学力の向上が重要な教育的課題のひとつであり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成を図る必要がある。

しかしながら、学校教育は、1校単独の学校の努力だけでは効果が上がるものではない。そこには、教育委員会を中心としながら、町内各小・中学校、関係諸機関、各種団体との連携強化が必要不可欠である。これまでも、川南町内の小・中学校が連携し、児童生徒の学力・心の教育、運動能力等さまざまな課題の解決に取り組んできたが、十分な成果を得るまでにはいたっていない。あらためて、各学校における教育課程の編成・実施・評価、日常の学習指導、教育環境の整備充実、教職員の資質向上、家庭や地域との連携等、さまざまな課題の解決が望まれるところである。

そこで、川南町の教育方針や学校教育の目標、学校教育をめぐる諸問題をふまえ、小・中学校の連携を強化し、各校の共通的問題の解決を図るために、「川南町ニューフロンティア教育研究会」の一層の充実を図り、川南町の学校教育の質的向上を目指すものである。

3 目 的

川南町の教育方針及び学校教育目標に則り、各学校が特色ある教育課程の編成を目指すとともに、その計画的な実施によって、児童生徒の「学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの振興、文化活動の推進」、「教職員の資質向上」、「家庭や地域との連携」等を図り、川南町全体の教育の充実・振興に資する。

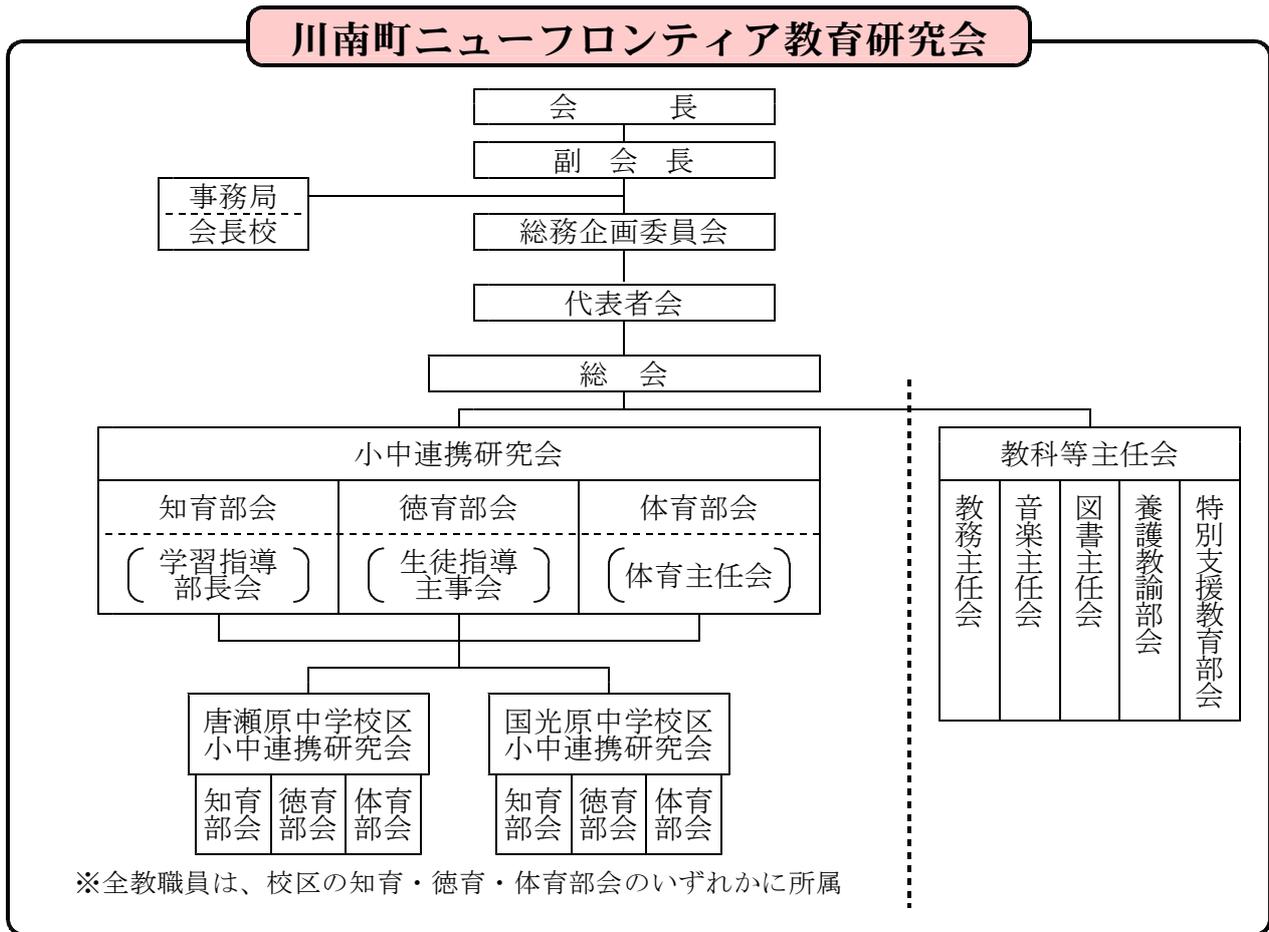
4 研究内容

- (1) 各学校の教育課程の編成に関すること。
- (2) 児童生徒の学力向上、心の教育の充実、体育・スポーツの推進に関すること。
- (3) 児童生徒の文化活動の推進に関すること。
- (4) 児童生徒の特別支援教育の推進に関すること。
- (5) 教職員の資質向上に関すること。
- (6) 家庭や地域との連携に関すること。

5 会の組織

- (1) 総務企画委員会
- (2) 代表者会
- (3) 総会
- (4) 小中連携研究会知育・徳育・体育部会
- (5) 中学校区小中連携研究会
- (6) 教科等主任会

6 組織図



7 委員会・部会等の構成（案）

委員会・部会等名	人員	構 成 員
総務企画委員会 ※定例校長会の際に開催	9	会 長 1 名（町校長会副会長等） 副 会 長 1 名（町校長会会長） 各種委員会等会長 5 名（各校長） 顧 問 1 名（町教育委員会教育長） 教員担当 1 名（町教育委員会教育課教育対策監）
代表者会（年 2 回）	3 8	川南町各小・中学校代表・川南町教育委員会等
総会	全員	川南町各小・中学校教職員・川南町教育委員会等
知育部会（学習指導部長会）	各 10	会 長 1 名（校長） 副 会 長 2 名（教頭） 各学校各担当主任等
徳学部会（生徒指導主事会）		
体育部会（体育主任会）		
唐瀬原中学校区小中連携研究会		会 長：当番校長（山本小）（東小→唐瀬原中→川南小→山本小） 副 会 長：当番校以外の校長 全職員参加
国光原中学校区小中連携研究会		会 長：当番校長（多賀小）（国光原中→通山小→多賀小） 副 会 長：当番校以外の校長 全職員参加
知育部会（学習指導部長会）	各 10	会 長 1 名（校長） 副 会 長 2 名（教頭） 各学校担当主任等
徳学部会（生徒指導主事会）		
体育部会（体育主任会）		
教科等主任会（5 主任会）	各 8	会 長 1 名（校長）・各学校担当代表

8 総務企画委員会

NF 総務企画委員会	
〈運営組織〉	
会長	副会長 委員 (校長7名)
顧問	教育長・教育対策監
〈会務〉	
1	計画・運営の検討
2	年間の業務について企画・運営
3	予算の配分
4	計画書・報告書の取りまとめ
5	予算書・決算書の取りまとめ
6	報告書等の印刷・製本・配布
7	教育講演会の企画

事務局	唐瀬原中学校
〈組織〉	
会長	会長校の教頭(事務局長)、職員
〈会務〉	
1	計画の原案作成、製本、説明
2	予算の管理・執行
3	計画書・報告書の取りまとめ
4	予算書・決算書の取りまとめ
5	報告書等の印刷・製本・配布
6	教育講演会の運営

9 教科等主任会・部会 担当会長等

教科等主任会	会 長	部 会	部会長・副部会長
教 務 主 任 会	牧野 宏紀 (東小校長)	知育部会	甲斐 伸明 (多賀小校長)
音 楽 主 任 会	小野 雅照 (山本小校長)		栗野慶一郎 (多賀小教頭) 須本康仁 (山本小教頭)
図 書 主 任 会	甲斐 伸明 (多賀小校長)	徳育部会	川井田 修 (国光原中校長)
養護教諭部会	坂本 幹夫 (川南小校長)		岩倉徳生 (国光原教頭) 中川浩伸 (東小教頭)
特別支援教育部会	小野 雅照 (山本小校長)	体育部会	松岡 和幸 (通山小校長)
総務企画委員会	大山 博志 (唐瀬原中校長)		横尾英明 (通山小教頭) 荻原健弘 (川南小教頭)

※知・徳・体育部会には、教頭2名を副部会長として配置(NF会長校教頭を除く)する。
部会の実務は副部会長が担当する。NF会長校教頭は、事務局長・会計を務める。

10 活動計画

時 期	内 容	備 考
4 月 中旬	総務企画委員会 役割分担及び本年度の活動内容等の検討	(校長会)
5 月 9 日	第1回川南町NF教育研究会代表者 (小中連携研究会知・徳・体部会) 本年度の取組について	校長、教頭 計14名 知・徳・体部会担当主任 計21名 総計35名
6 月 上旬	活動計画・収支予算書作成、書類提出 教科等主任会、中学校区研究会、知・徳・体部会	
6 月 下旬	補助金申請 (総額47万円を予定)	補助金配布
6 月～2 月	各研究会における活動及び予算の執行	各中学校区別研究会(授業公開等) 国中校区：6月13日 唐中校区：11月7日
8 月 21日	川南町NF教育研究会総会 ・小中連携知徳体部会 ・教育講演会	全教職員 川南町教育委員会
2 月 上旬	活動報告・決算報告作成、書類提出 知・徳・体部会、中学校区研究会、教科等主任会	補助金執行残金の回収 実施報告書・決算書作成
2 月 下旬	第2回川南町NF教育研究代表者会 ・小中連携知徳体研究部会報告 ・町教育論文表彰式・発表会	校長、教頭 知・徳・体部会担当主任 教科等主任会理事長
3 月	活動の総括 次年度への課題の整理、改善点の検討	



川南町立川南小学校

創立 明治33年 住所 川南町大字川南13493番地1 電話 0983-27-0004

校長 坂本幹夫

教育目標 **全力一心「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」**

児童数(人)

1年	65
2年	72
3年	75
4年	77
5年	68
6年	88
合計	445

全教職員数 38人
PTA戸数 318戸



町内で一番大きな学校です。子どもたち一人一人の想いや願いを大切に、学校・家庭・地域が一体となった信頼される学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



社会福祉体験学習



あいさつ元気隊・応援隊



キヨモト教諭選間



児童会による募金活動



川南町立通山小学校

創立 明治2年 住所 川南町大字平田6383番地 電話 0983-27-0847

校長 松岡和幸

教育目標 **心身ともにたくましく、自ら学び続ける力をもった児童を育成する**

児童数(人)

1年	33
2年	30
3年	24
4年	33
5年	32
6年	36
合計	188

全教職員数 19人
PTA戸数 133戸



子どもたちの朝のあいさつ運動やボランティア活動も活発です。家庭・地域と力を合わせ、子どもたちの「頭・心・体」を鍛え、笑顔あふれる学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



小中合同あいさつ運動



朝のさわやか運動



ふれあい活動(もちつき)



浜うどんづくり



川南町立東小学校

創立 昭和23年 住所 川南町大字川南21909番地1 電話 0983-27-0101

校長 牧野宏紀

教育目標 **すぐれた知性と豊かな心をもち 心身ともにたくましく実践力のある児童の育成**

児童数(人)

1年	21
2年	22
3年	16
4年	21
5年	26
6年	22
合計	128

全教職員数 16人
PTA戸数 79戸



もちつきやいもほり等の様々な体験活動を通して、知・徳・体のバランスの取れた教育を地域の方々と一体になって進め、地域とともにある学校づくりに努めています。

特色ある教育活動



朝の読み聞かせ



オープンスクール(しめ縄づくり)



もちつき体験



いもほり(1・2年生)



川南町立多賀小学校

創立 明治41年 住所 川南町大字川南15113番地2 電話 0983-27-0234

校長 甲斐 伸明

教育目標 **博愛と開拓の精神を基調として、豊かな心、確かな学力、たくましい体をそなえ、力強く生きる児童の育成**

児童数(人)

1年	16
2年	12
3年	11
4年	20
5年	19
6年	16
合計	94

全教職員数 15人
PTA戸数 66戸



「日々の小さな積み重ねで 大きな成果を！」をスローガンに、多賀小ならではの教育実践をとおして、知・徳・体のバランスのとれた児童を育成し、信頼される学校づくりを目指します。

特色ある教育活動



かんかん踊り



小中合同クリーン活動



多賀ふれあいフェスタ



地域ふれあい活動



川南町立山本小学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南17741番地 電話 0983-27-0814

校長 小野雅照

教育目標 **心身ともに健康で、自ら考え、進んで実践できる児童の育成**

児童数(人)

1年	12
2年	12
3年	13
4年	11
5年	10
6年	4
合計	62

全教職員数 15人
PTA戸数 45戸

小規模校ならではのきめ細やかな子どもたちへの指導を通して、心豊かな人づくりとともに学力向上に努めています。



学校の合い言葉斉唱



園児との交流



昔の遊び



みどりの少年団活動(植樹)

特色ある教育活動



川南町立唐瀬原中学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南19664番地1 電話 0983-27-0044

校長 大山博志

教育目標 **心豊かで たくましく 意欲的に学ぶ 生徒の育成**

生徒数(人)

1年	88
2年	68
3年	89
合計	245

全教職員数 25人
PTA戸数 236戸

生徒との信頼関係を基軸に「切磋琢磨」し、「チーム唐瀬原中」を合言葉に、地域とともに歩む学校づくりを目指します。



中高連携授業(出前授業)



読み聞かせ



体育大会



文化祭

特色ある教育活動



川南町立国光原中学校

創立 昭和22年 住所 川南町大字川南23566番地1 電話 0983-27-0046

校長 川井田修

教育目標 **ふるさと川南を愛し 自ら学び未来を拓く 心豊かでたくましい 生徒の育成**

生徒数(人)

1年	61
2年	67
3年	66
合計	194

全教職員数 22人
PTA戸数 171戸

川南の素晴らしい伝統・文化や教育資源を生かして、ふるさと川南を愛し、未来を拓くために自ら学び、自ら行動する力やこれからの社会を「人として」生き抜く力、社会に貢献する気概のある心豊かでたくましい生徒の育成を目指します。

特色ある教育活動



あいさつ運動



立志式



体育大会



文化祭

川南町教育委員会

教育委員会組織

教育長	木村 誠
職務代理者	内野宮 恵
教育委員	富山美津子
教育委員	小嶋久美子
教育委員	黒木 実

教育委員会事務局

教育課

川南町教育委員会は、「ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり」を目標に掲げ取り組んでいきます。また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに「生きる力」を育み、「生まれ育ったまち川南」を飛躍・発展させ、「あらたなまち川南」を創造していくことができる人材の育成と生涯にわたって学び続けることができる教育環境づくりを推進します。

学校教育に関する相談窓口

子どもに関する不登校やいじめ、問題行動、学習等、または、学校教育全般に関する相談は、各学校もしくは下記まで、ご連絡ください。

教育課 電話 27-8019

FAX 27-1028



川南町歌

一 日向灘 躍る朝日の

かがやく 光に立ちて

いま拓く みどりの山河

はつらつと 生命は萌ゆる

あゝ川南 伸びゆくところ

二 尾鈴山 つらなるみなみ

陽はみちて 幸は豊に

いざ建てん わが町ここに

清新の 産業息吹く

あゝ川南 興さん共に

三 わきあがる 時代の生氣

海山に ちまたにあふれ

見よ咲かす 文化の花に

躍進の 人の和固し

あゝ川南 栄えよ永遠に





Team Kawaminami

大人も 子どもも「あいさつ名人」
笑顔で あいさつ・声かけ運動!

ふるさと川南を愛し 未来を拓く 心豊かで たくましい 川南の人づくり